



Arcserve Unified Data Protection 9.x

製品のご紹介

2024 年 8 月
Arcserve Japan

arcserve®

Rev 2.5



目次

1. Arcserve UDP の概要とフォーカスエリア
2. 様々なクラウド利用のニーズへの対応
3. セキュリティの確保・ランサムウェアへの対策
4. ライセンス

Arcserve Unified Data Protection 9.x 製品のご紹介



1. Arcserve UDP の概要とフォーカスエリア

Arcserve Unified Data Protection (UDP)



イメージバックアップをベースにArcserve シリーズ
を統合したバックアップソリューション

Arcserve UDP

統合バックアップソリューション

Arcserve Backup

データ保護の大黒柱
頼れるバックアップ

Arcserve Replication/HA

レプリケーションの
デファクトスタンダード

Arcserve UDP : 高い顧客満足度！



ITreview

顧客満足度

4.1

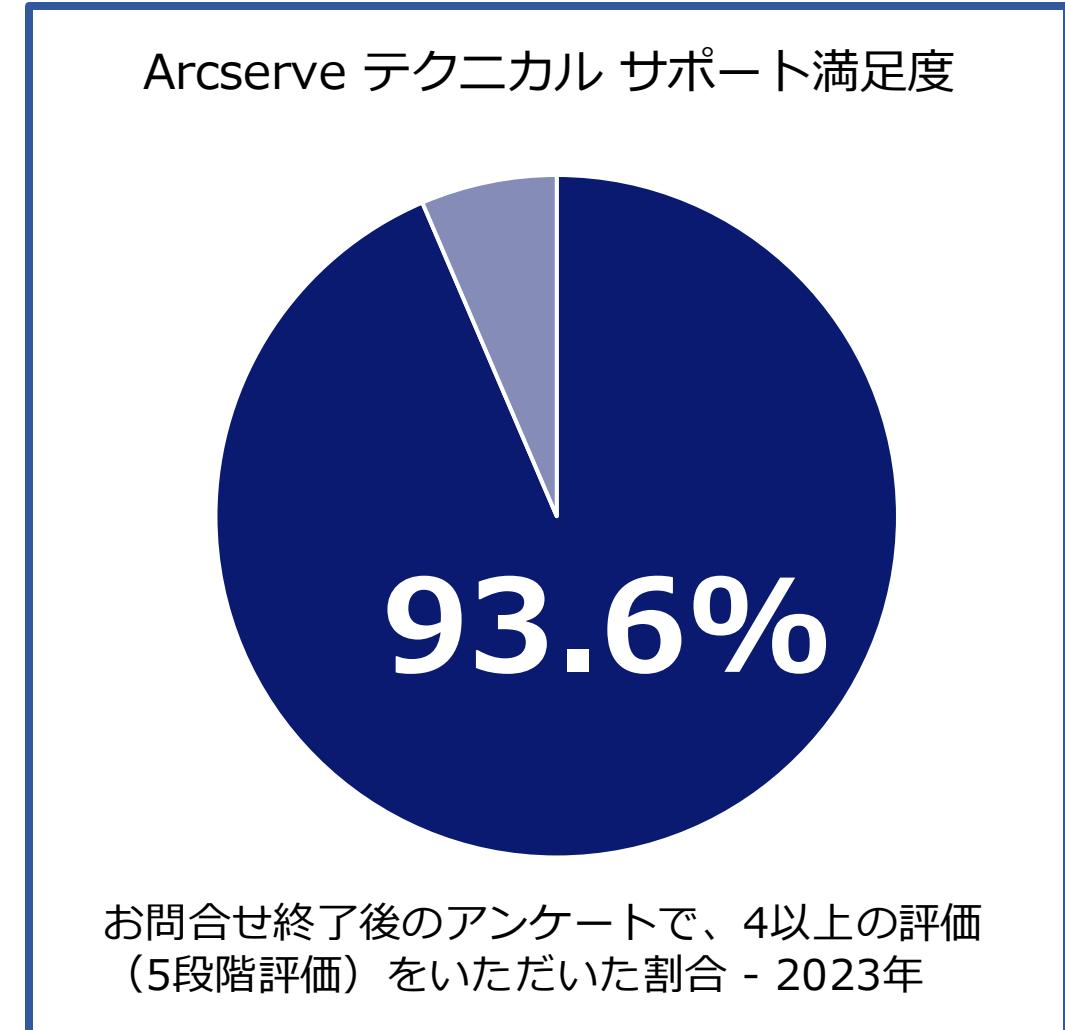
146レビュー 2024/01/25時点

ITreview

どのような課題解決に貢献しましたか？どのようなメリットが得られましたか？

永久増分バックアップと重複排除機能にてバックアップの時間を以前に比べ半分以下に短縮できた
またデータ容量も半分程度に削減できたため、H/Wコストも削減できた
システム移行の際はバックアップデータからBMRにて移行できるため簡単で一貫した手順で移行が行えた

業種 ソフトウェア・SI 職種 ITアーキテクト 従業員規模 100-300人未満

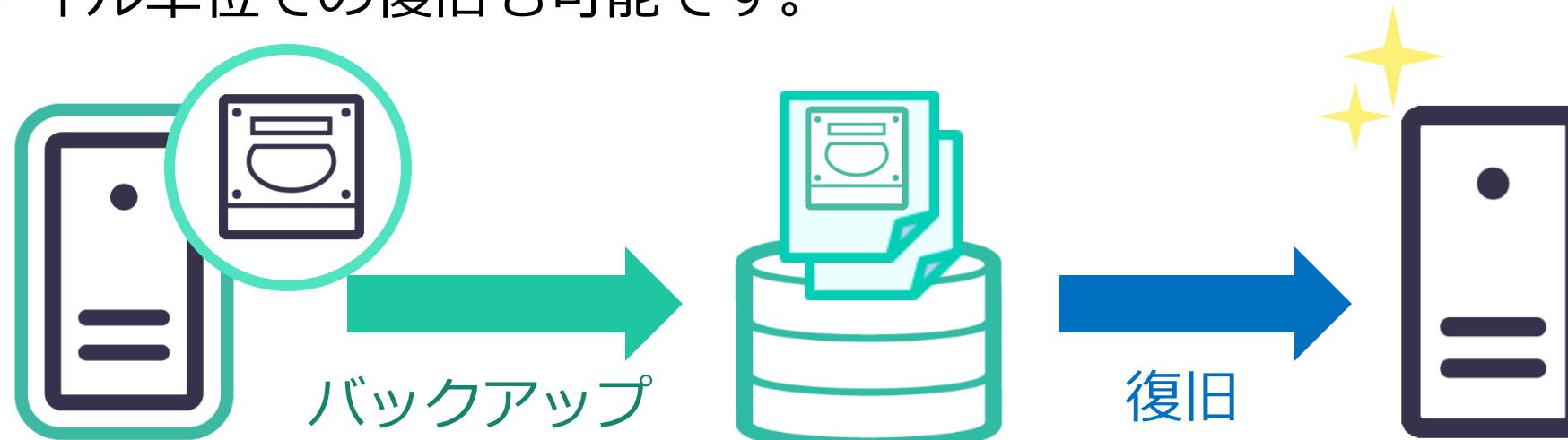




簡単イメージバックアップ® Arcserve UDP

イメージバックアップとは

ファイル単位ではなく、ディスク全体を丸ごと高速にバックアップします。OSやデータを含むシステム全体をまとめて簡単に復旧できます。個別のファイル単位での復旧も可能です。



Arcserve UDPは異なる機種への復旧やP2Vも標準サポート！
(物理から仮想への復旧)



Arcserve UDP のフォーカス エリア



Arcserve UDP のフォーカス エリア



簡単！でも 柔軟に バックアップ

簡単なだけでなく、小規模・大規模、物理・仮想・クラウド、Windows・Linuxを問わず、柔軟なバックアップやリストアを実現



仮想化統合基盤に関わる要件をまとめて対応

大規模仮想化統合基盤や、仮想基盤に統合できない物理サーバの保護、テープへのバックアップなどもまとめて Arcserve UDP で解決！



災害対策を適切なコストで実現

ストレージやネットワークを効率的に利用し、全体コストを抑えてシステムの災害対策を実現



簡単！でも 柔軟に バックアップ[®]

運用を簡単にし、管理者の負担を軽くする機能を **多数** 実装しました

継続的な増分バックアップ

初回のフル バックアップ以降は
増分バックアップだけで運用



ベアメタル復旧

システム全体を簡単に復旧。異なる機種への復旧やP2Vも標準サポート！



アプリケーションの 簡単バックアップ

Oracle、SQL Server、Exchange、
SharePoint を OS とまとめてオンライン
バックアップ/復旧できるため、運用が簡単！



ドラッグ&ドロップによる 簡単ファイルリストア

Windows エクスプローラまたは、Linux
ファイルブラウザを使い、直感的な操作で
ファイルリストア





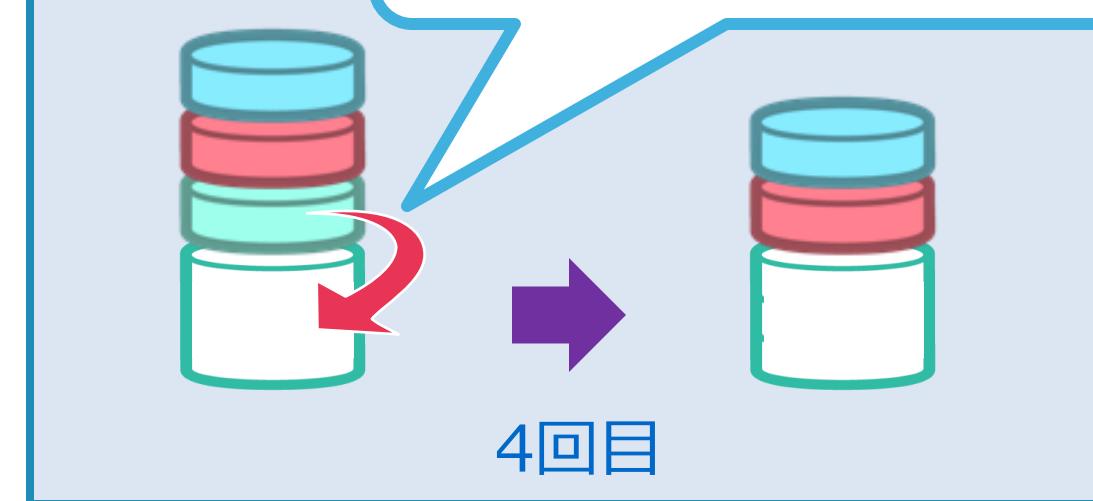
継続的な増分バックアップの効果

2回目以降フルバックアップの取り直しが不要なため、
バックアップ時間短縮とディスク使用量の節約が可能！！

バックアップデータを3世代保存する場合



指定した保存数を超えると最も古い
増分データを合成（マージ）



※初期設定では7世代を保存(最大1440世代まで設定可)



復旧も高速イメージ リストア

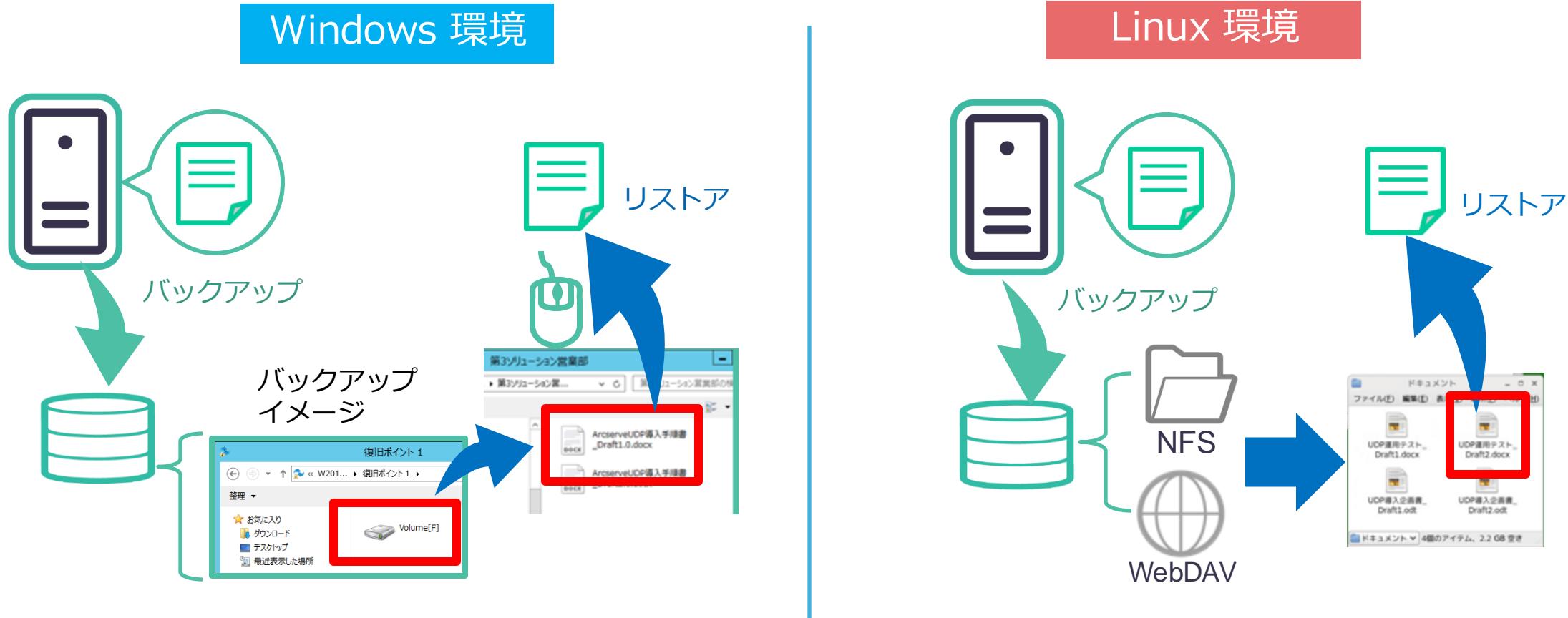
Windows のリストア オプションで、ブロック レベル リストアの選択が可能



多数のファイルが格納されたボリュームも短時間に復旧



ドラッグ & ドロップによる簡単ファイルリストア

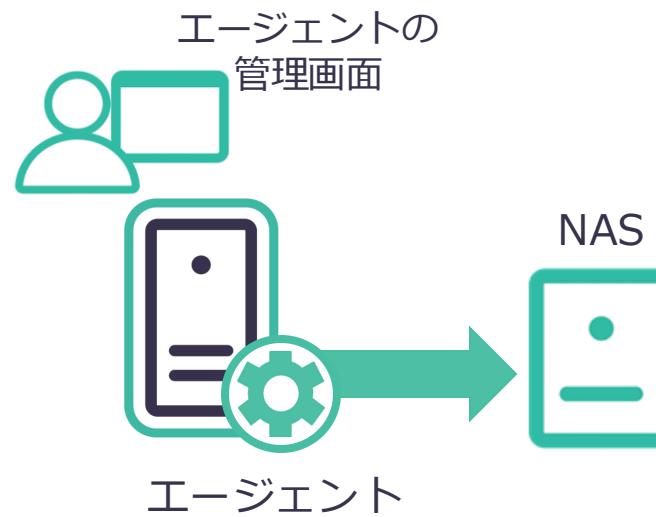


Windows も Linux も、簡単操作によるファイルリストアを実現



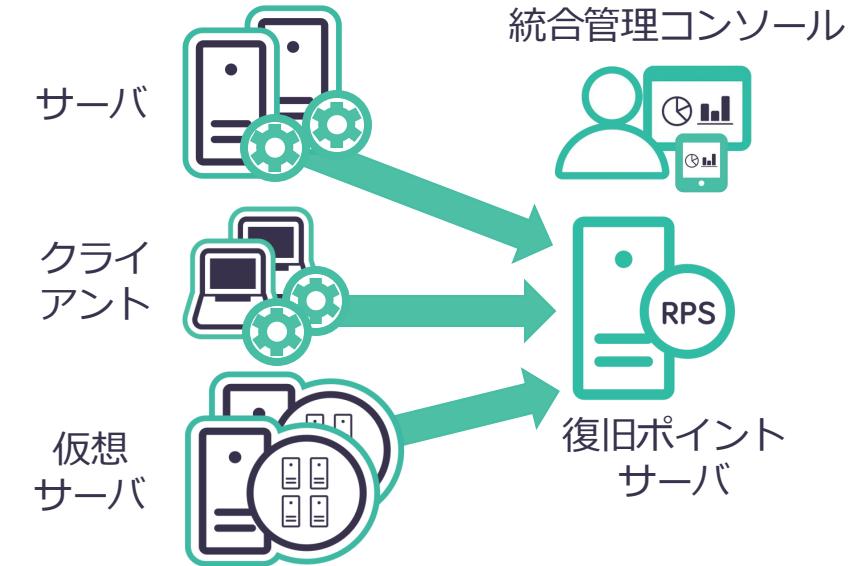
複数サーバ環境でも簡単なバックアップ運用を実現

単体サーバのバックアップ



エージェントだけでバックアップ運用

複数サーバのバックアップ



複数の対象を一元管理で、まとめて
バックアップ運用

システム構成の変更に合わせて**拡張可能！！**



統合管理を実現する Arcserve UDP のコンポーネント

Arcserve Unified Data Protection

エージェント

物理・仮想マシンの
バックアップを実行



コンソール (統合管理サーバ)

スケジュール管理
および操作画面を提供



復旧ポイント サーバ

バックアップデータの
格納庫を提供



環境に合わせて構成変更が可能



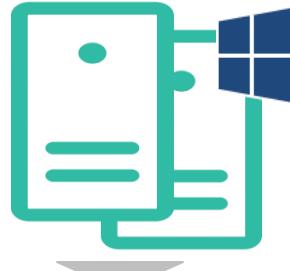
コンソール

こんな時に
便利！

→ Windows / Linuxをまとめてバックアップしたい

→ 物理や仮想環境、クラウドのバックアップをまとめて管理したい

物理サーバ (Windows)



物理サーバ (Linux)



仮想マシン
(エージェントレス)



クライアントPC



その他、
共有フォルダ、
Microsoft 365 など

The screenshot shows the Arcserve Unified Data Protection web interface. At the top, there's a navigation bar with 'arcserve' and 'UNIFIED DATA PROTECTION'. Below it is a dashboard with tabs for 'ダッシュボード', 'リソース', 'ジョブ', 'レポート', 'ログ', and '設定'. The 'リソース' tab is selected. On the left, there's a sidebar with sections like 'ノード' (Nodes), 'アクション' (Actions), and '仮想スケンパイ' (Virtual Scan). The main area displays a table of nodes:

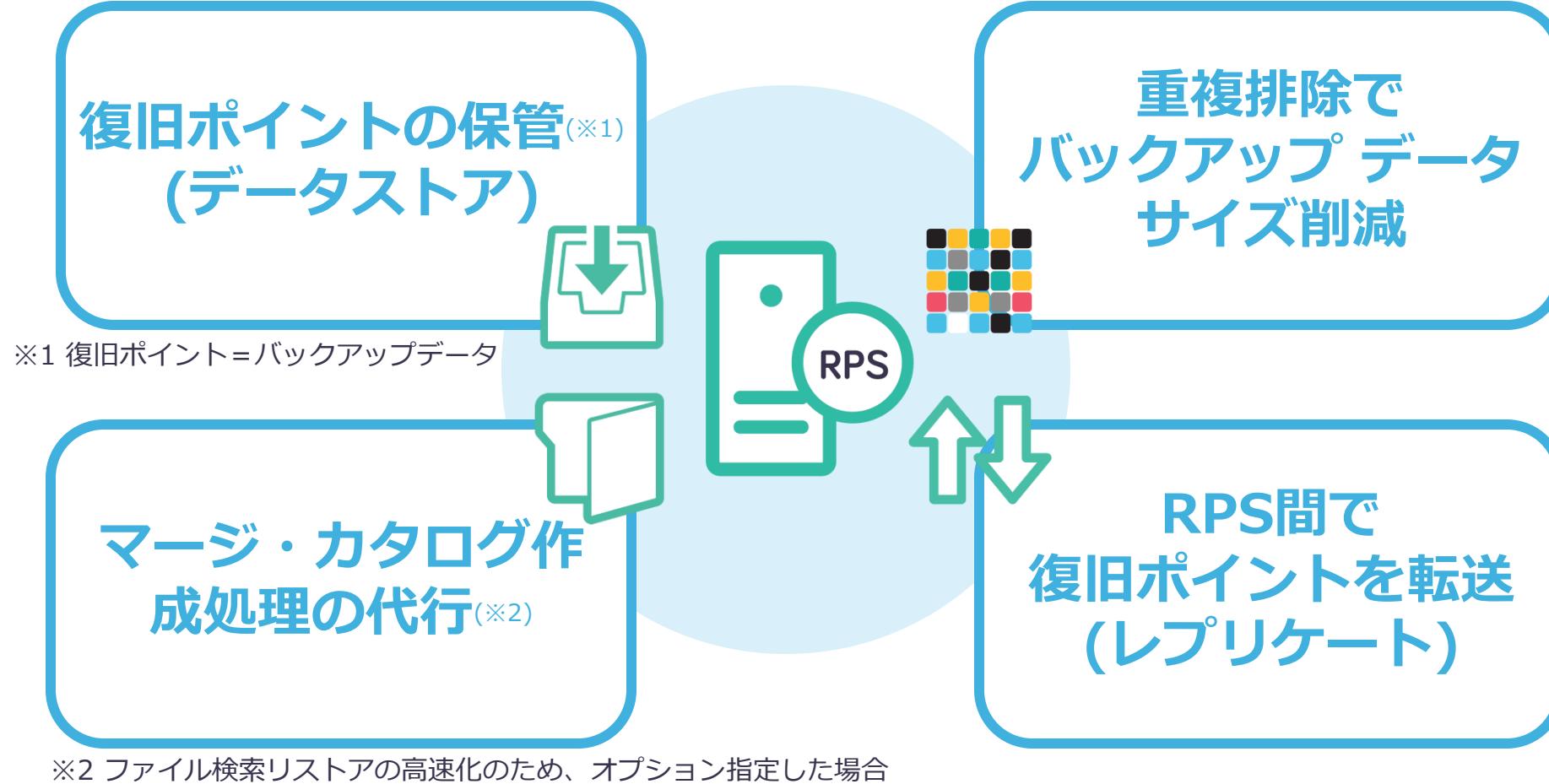
ステータス	ノード名	VM名	プラン
緑色のチェックマーク	VM 0.58.174.200#1		UNC Path
緑色のチェックマーク	1.058.174.107	AHV-Proxy	AHV Hotadd
緑色のチェックマーク	1.058.174.154	LBS0001	AHV Hotadd
緑色のチェックマーク	1.058.174.217	AHV-VM1	AHV Hotadd
オレンジ色の感叹号	ahv-mnt		
オレンジ色の感叹号	ahv-proxy		
オレンジ色の感叹号	ahv-proxy		

To the right of the table, there's a sidebar for node 1058.174.217, showing 'ステータス' (Status) as '最新のジョブ (タスク別)' (Latest jobs by task), with a 'バックアップ ワーク' (Backup Work) entry from 2019/09/08 17:50:43. Below that is a section for '最近のイベント' (Recent events) with entries for 'バックアップ - フル' (Backup - Full), 'RPS」 (RPS), 'バックアップ' (Backup), 'レプリカ' (Replica), and 'レポート' (Report).

インターネットブラウザを使って
どこからでも簡単にアクセス可能



復旧ポイントサーバ (Recovery Point Server : RPS)

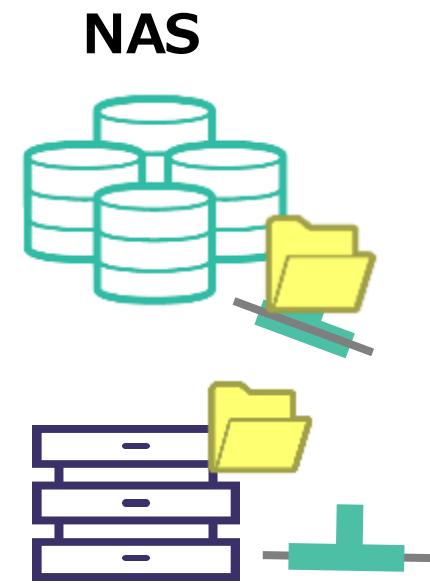


バックアップ サイズの低減と災害対策を実現する高機能なデータ格納庫を提供



共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ[®]

エージェントが導入できない NAS やストレージ上のデータをバックアップ



CIFS / NFS 経由
バックアップ



共有フォルダ単位で
バックアップ

継続的なファイル増分
バックアップ

バックアップデータの
重複排除可

※ Nutanix Files スナップショットとも連携可

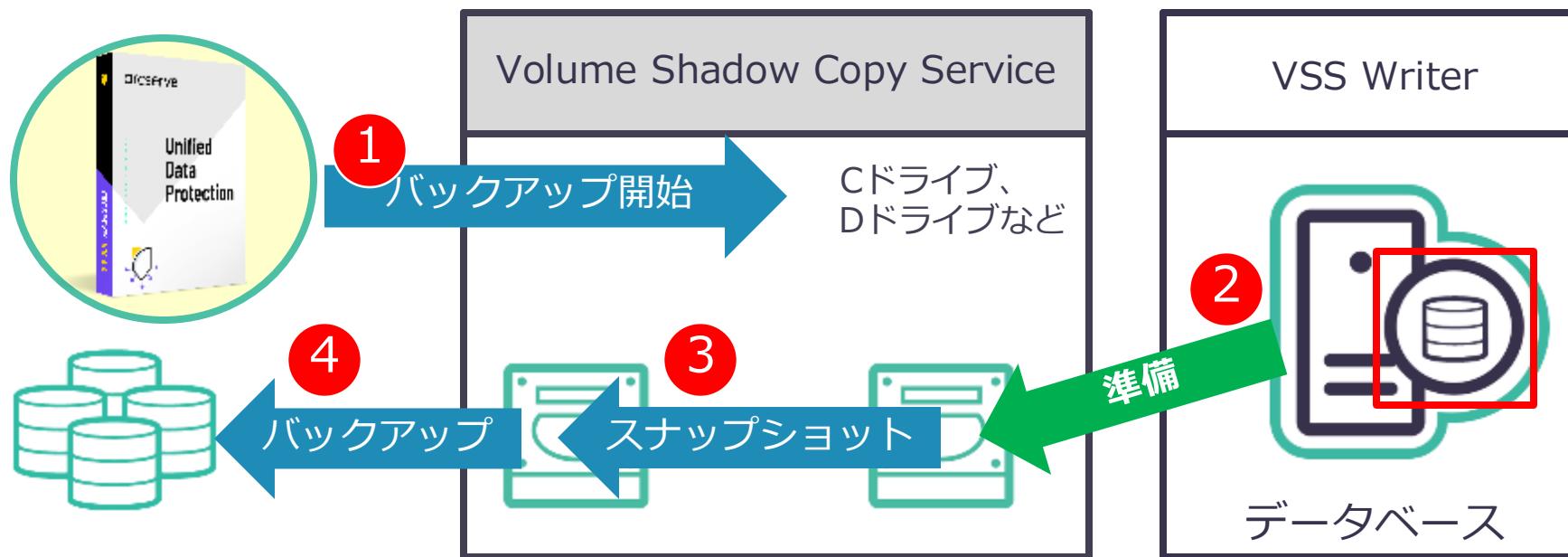
大容量 NAS データも最小化して保存！



稼働中のアプリケーションも簡単にバックアップ

アプリケーションの VSS Writer と連携。サーバ**丸ごとバックアップで簡単！**

- Microsoft SQL / Exchange / SharePoint 、 Oracle Database (Windows) 、 Active Directory





Oracle データベースの RMAN 対応

Windows / Linux 上の Oracle データベース を Recovery Manager
(RMAN) でバックアップ/リストア・リカバリ



Windows / Linux

エージェントレスで
データベースを保護

Point in Time, SCN,
ログシーケンスを
指定してリカバリ

アシュアードリカバリで
整合性の確認可能

※ 日本では、Oracle RAC 環境は非サポートとなります

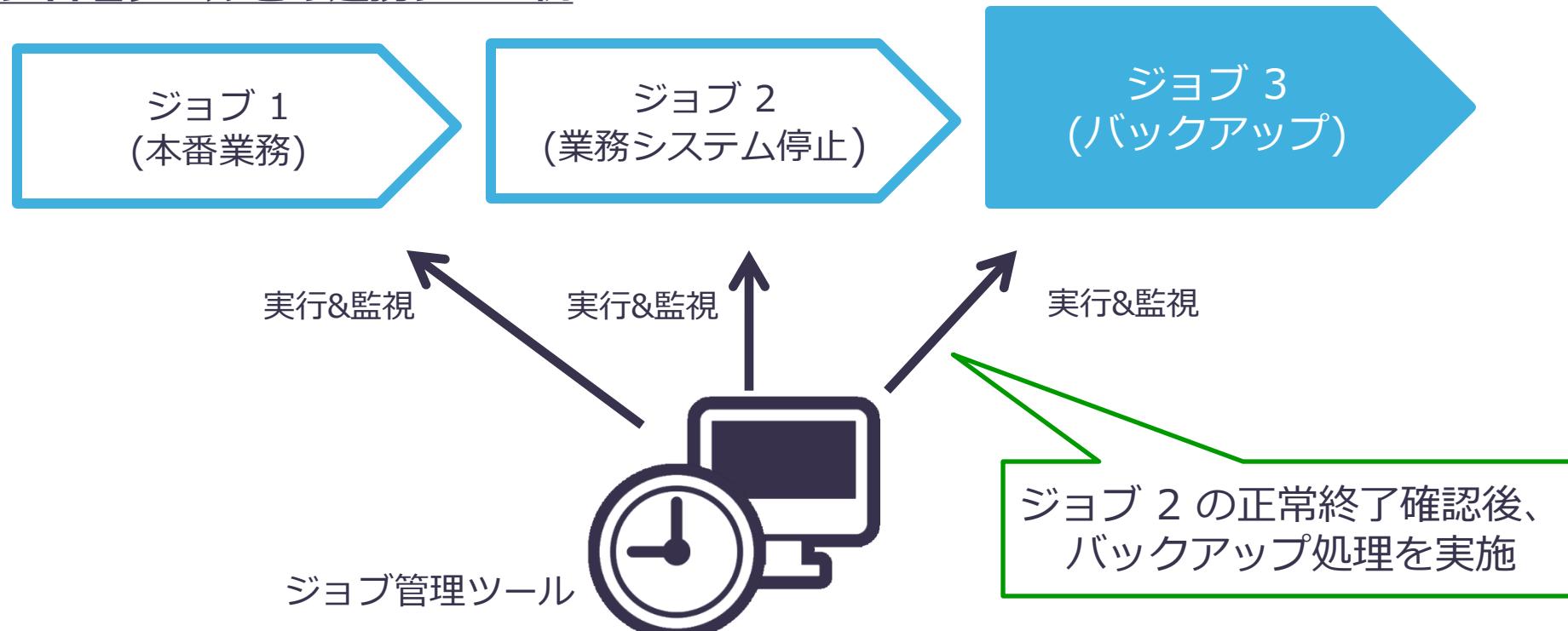


コマンドライン インターフェースによる柔軟なバックアップ運用

こんな時に
便利！

- バックアップ/リストアをスケジュール以外で自動実行したい場合
- ジョブ管理ツールからバックアップ処理を実行したい場合

ジョブ管理ツールとの連携フロー例





その他の機能



リソース構成ウィザードによる初期設定の簡略化

物理サーバや仮想マシンなど複数のバックアップ対象の登録やバックアップ先など必要な設定をウィザード形式で順に設定するだけで、初心者でも簡単に設定可能！

柔軟なバックアップ設定

- 指定した曜日や日次/週次/月次のバックアップスケジュールが設定可能
- 週次や月次、曜日指定のスケジュールを組み合わせた柔軟なスケジュール設定が可能

Active Directory のオブジェクトレベルリストア

- 誤って消してしまったActive Directoryのユーザやコンピュータ アカウントなどを個別のオブジェクト単位でリストア可能
- オンラインで Active Directory オブジェクトのリストアが可能。業務への影響を最小化

Linux 環境でも簡単 GUI 操作

Linux 環境でも マウス オペレーションによる直感的なバックアップ、復旧の操作が可能



Arcserve UDP のフォーカス エリア





仮想化統合基盤に関する要件をまとめて対応

仮想環境に統合するシステムに求められる多くの機能を盛り込みました

物理・仮想マシンの統合管理

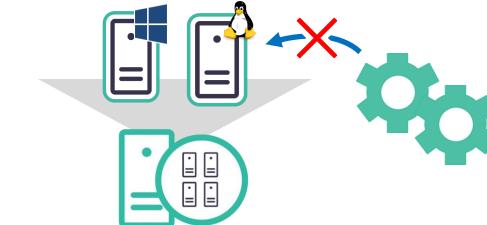
物理、仮想のバックアップ/リストアを1つの画面でまとめて監視・管理



エージェントレス バックアップ

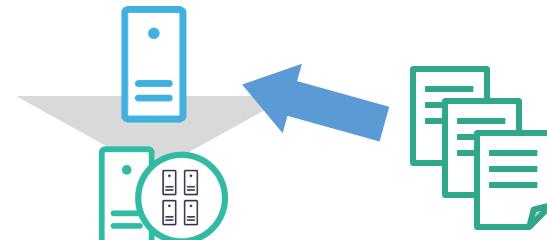
仮想マシンにエージェントを入れずに丸ごとバックアップできるので、導入・運用が簡単！

Microsoft Hyper-V
VMware vSphere
Nutanix AHV



VM単位、ファイル単位での復旧

VM全体の復旧はもちろん、個別ファイル単位でのリストアも可能



稼働中アプリケーションの保護

物理と同様に、稼働中のMicrosoft SQL / Exchange / Share Point / Oracle DBの保護が可能

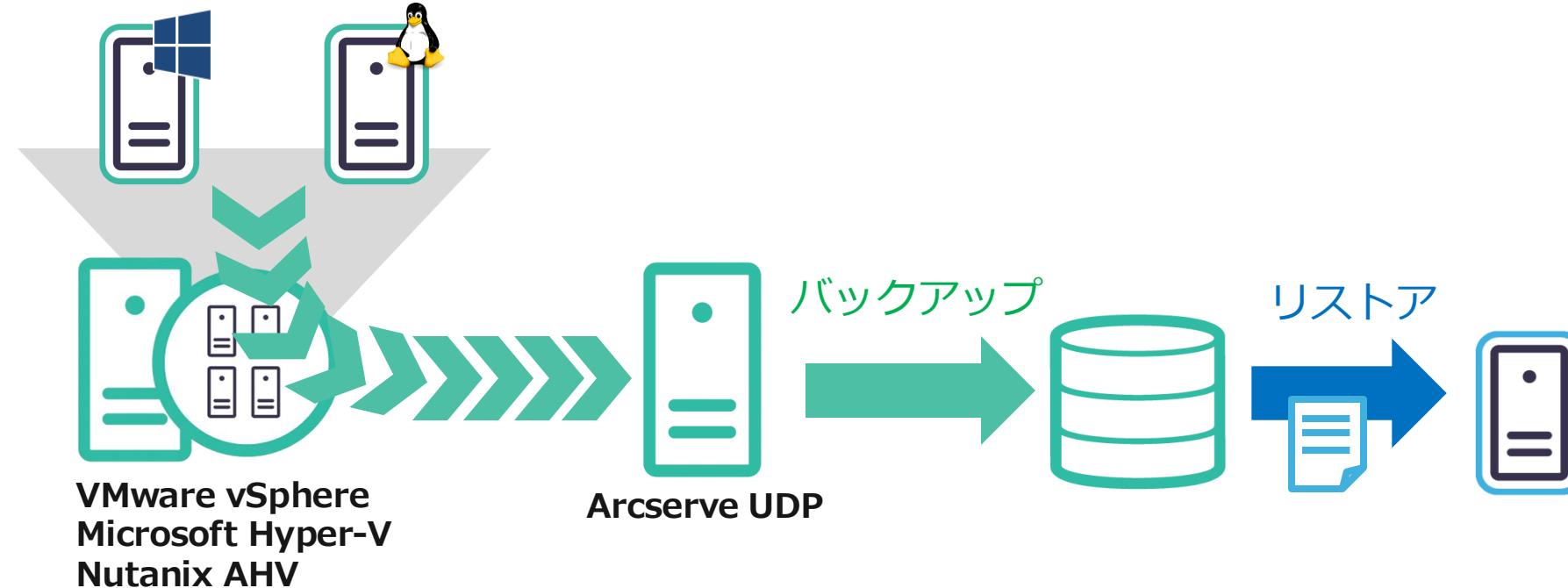




仮想環境のエージェントレス バックアップ[®]

**VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Nutanix AHV^{※1} の
仮想マシンを エージェントレス でバックアップ**

Windows VM Linux VM



継続増分&重複排除バックアップ[®]運用も可能！

※1 AHV 環境のエージェントレス バックアップは、Advanced Edition for Nutanix で対応
※2 Oracle、SQL Server、Exchange、SharePoint をサポート



エージェントレス バックアップ[®] でもここまでできる！



停止中の仮想マシンのバックアップおよびファイル単位のリストア

- Windows 仮想マシンが停止中に取得したバックアップデータからファイル単位のリストアが可能
- VMware vSphere および Microsoft Hyper-V 環境で利用可能

Microsoft Hyper-V クラスタ環境のサポート

- Microsoft Hyper-V クラスタ上の仮想マシンをエージェントレスでバックアップ
- ライブマイグレーションで移動した仮想マシンのバックアップも対応

仮想マシンの自動検出 + 自動バックアップ

- VMware vSphere や Microsoft Hyper-V の仮想マシンを定期的に自動検出し、管理者にメールで通知
- VMware / Hyper-V 環境の新規仮想マシンを自動的に登録してプランに追加できるため、新規ノード追加時の漏れが無いバックアップと、運用の効率化が可能

様々なVMware vSphere 環境のサポート

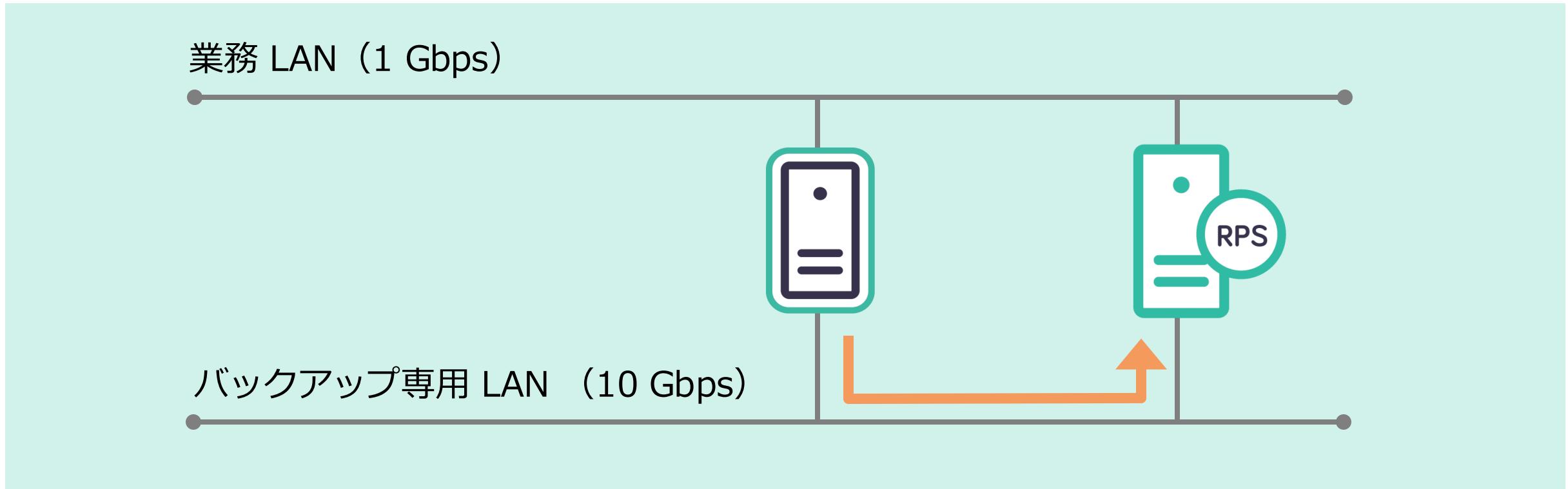
VMware vSphere vMotion、HA、vSANや vNetwork Distributed Switch (vDS)が利用されている環境のバックアップおよびリストアをサポート

参考：[vSphere ESXi の各機能 \(vMotion など\) に関する Arcserve UDP のサポート状況について](#)



「バックアップのネットワーク指定」の使用例

業務 LAN より高速なネットワークをバックアップ専用 LAN として指定すれば、
バックアップ時間の短縮が期待できます！



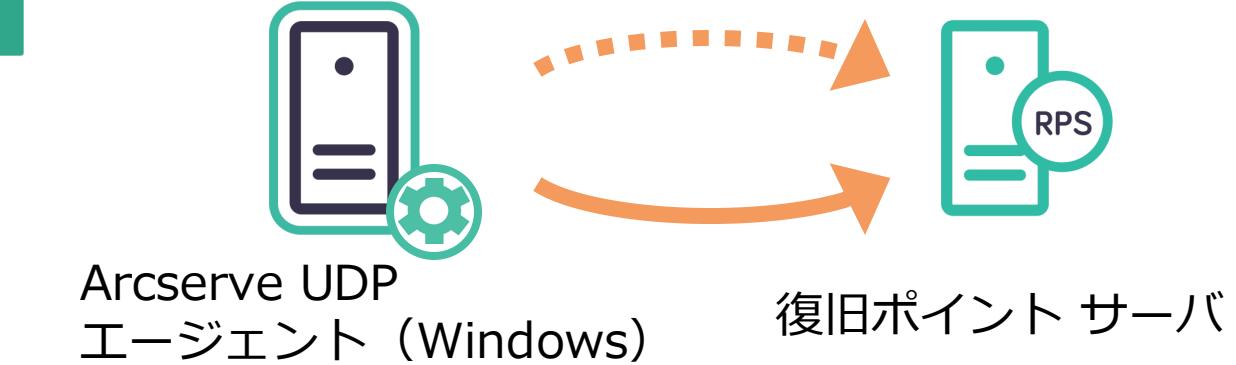
バックアップのネットワーク指定

Windows エージェントと、仮想のエージェントレスに対応



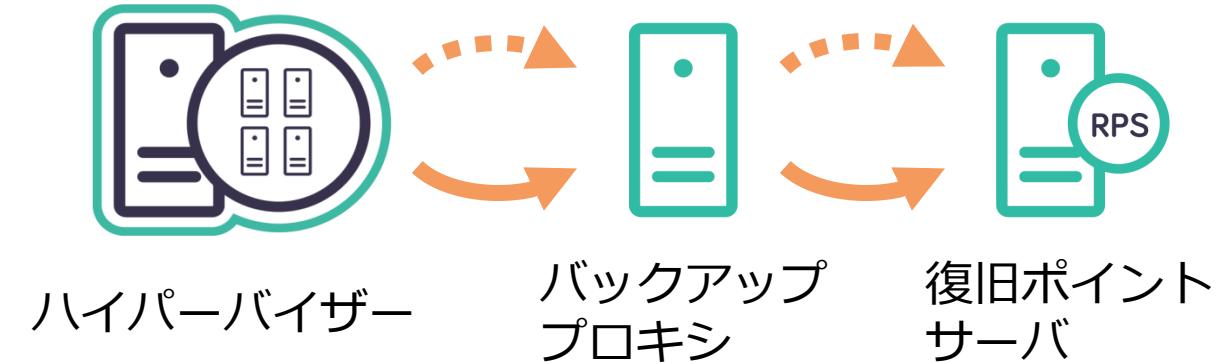
Windows エージェントでのバックアップ

Arcserve UDP エージェント（Windows）導入サーバと復旧ポイントサーバ（RPS）間のバックアップ経路を指定できます。



仮想マシンの エージェントレス バックアップ

ハイパーバイザとバックアップ プロキシ間、
バックアップ プロキシと RPS 間の
バックアップ経路をそれぞれ指定できます。



※ ハイパーバイザは ESXi、Hyper-V、Nutanix AHVに対応しています。



「レプリケート / リストア」のネットワーク指定

バックアップ以外でも、レプリケートやリストアに使用するネットワークを指定可能に

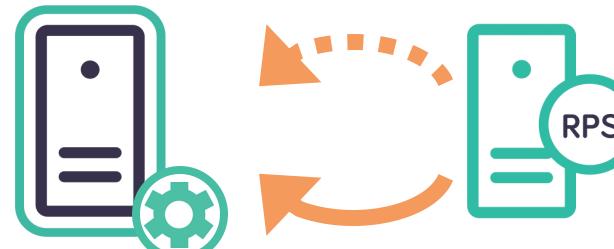
Linux エージェントでのバックアップ



RPS 間のレプリケート



Windows / Linux のファイルリストア



VM の復旧





ユーザ管理による権限の割り当て

こんな時に
便利！

- 管理者以外にはバックアップ設定を変更させたくない
- オペレータにはステータス参照だけを許可したい

ユーザ管理画面

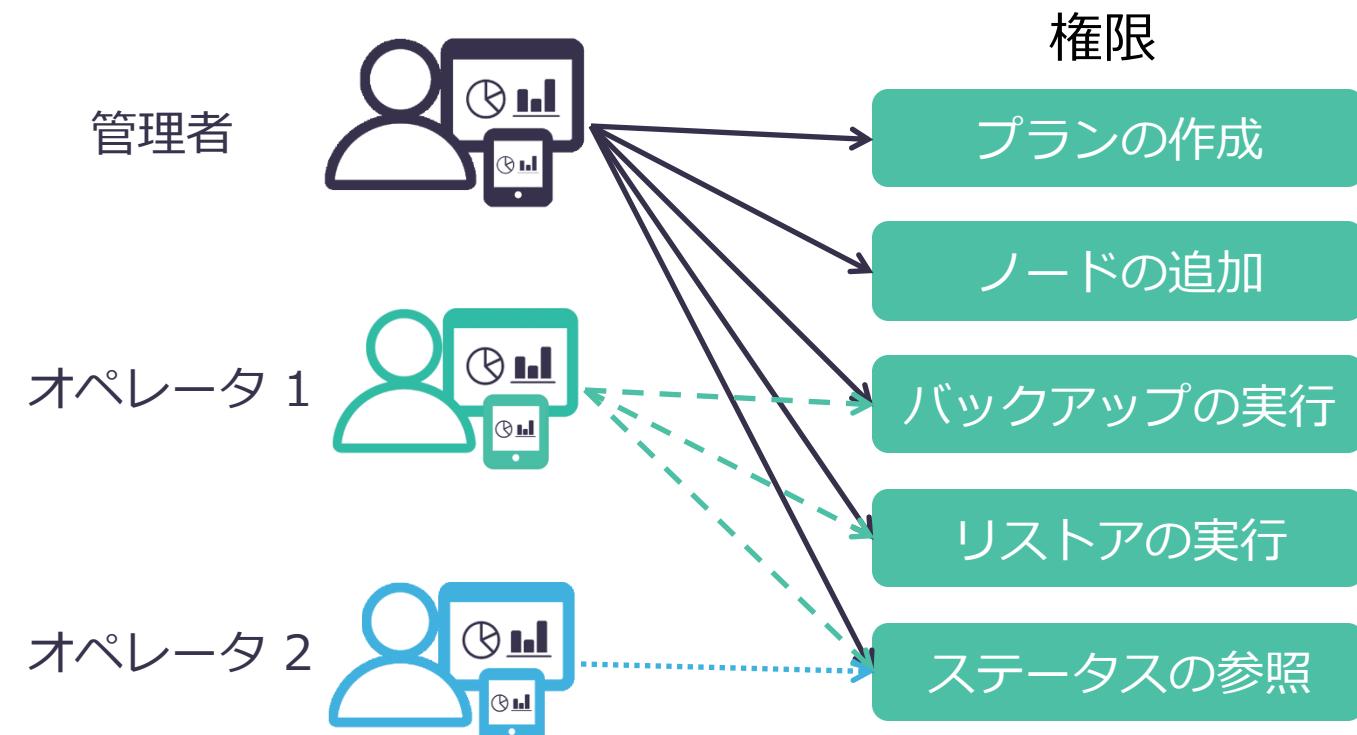
ホーム > 設定 > ユーザおよび役割 > 役割 > 権限

役割の権限: バックアップ

すべて展開 すべて折りたたむ

すべての権限

- アプリケーション
- Arcserve
 - バックアップの実行
 - ノードを今すぐバックアップ
 - 更新の確認/適用
 - システムを設定可能
 - ライセンス管理
 - インスタント VM の管理
 - リソースの管理 (作成、更新、削除)
 - ストレージ アプライアンスの管理
 - 仮想スタンバイの管理
 - 今すぐマージ
 - システムをモニタ可能
 - 今すぐレプリケート
 - リストアの実行
 - RHA 管理



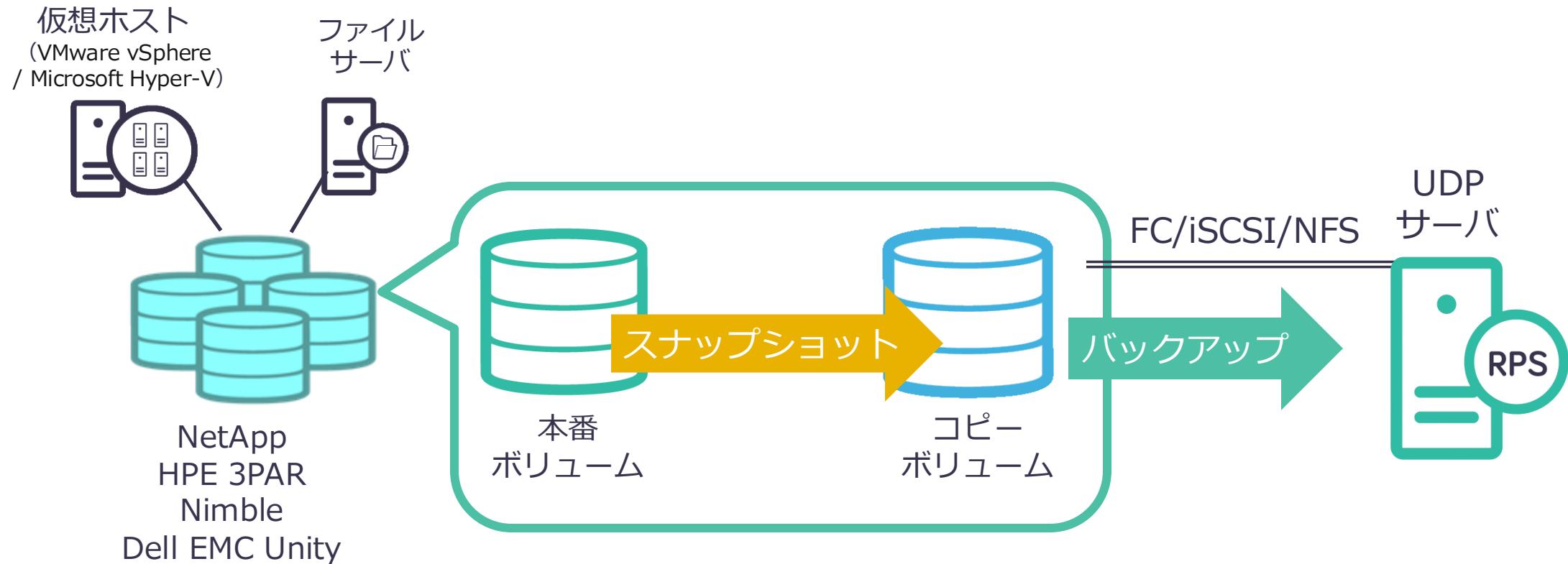
ユーザごとに操作権限を設定してセキュリティを強化



大容量データの高速バックアップ

ここが
ポイント！

- ハードウェア スナップショットと連携した高速バックアップを実現
- 構成次第でVM 領域やファイル サーバ領域のLANフリー バックアップも可能





Arcserve UDP のフォーカスエリア





災害対策を適切なコストで実現

災害対策ソリューションに求められる多くの機能を盛り込みました

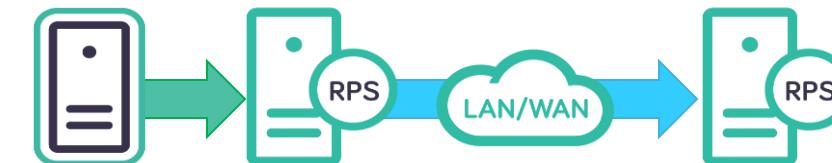
バックアップデータの重複排除

エージェントで重複排除を実行！複数サーバ間の重複排除も行い、少ない容量で多くの世代を残せる



バックアップデータのレプリケート

標準機能でバックアップデータの転送機能を搭載！遠隔地への保管に最適



仮想スタンバイサーバの自動作成

バックアップデータを元に仮想マシン作成
障害時に代替え機として利用
遠隔地で利用し事業継続が可能



インスタント VM

バックアップデータから直接起動した仮想マシンを本番サーバの替わりとして利用可能

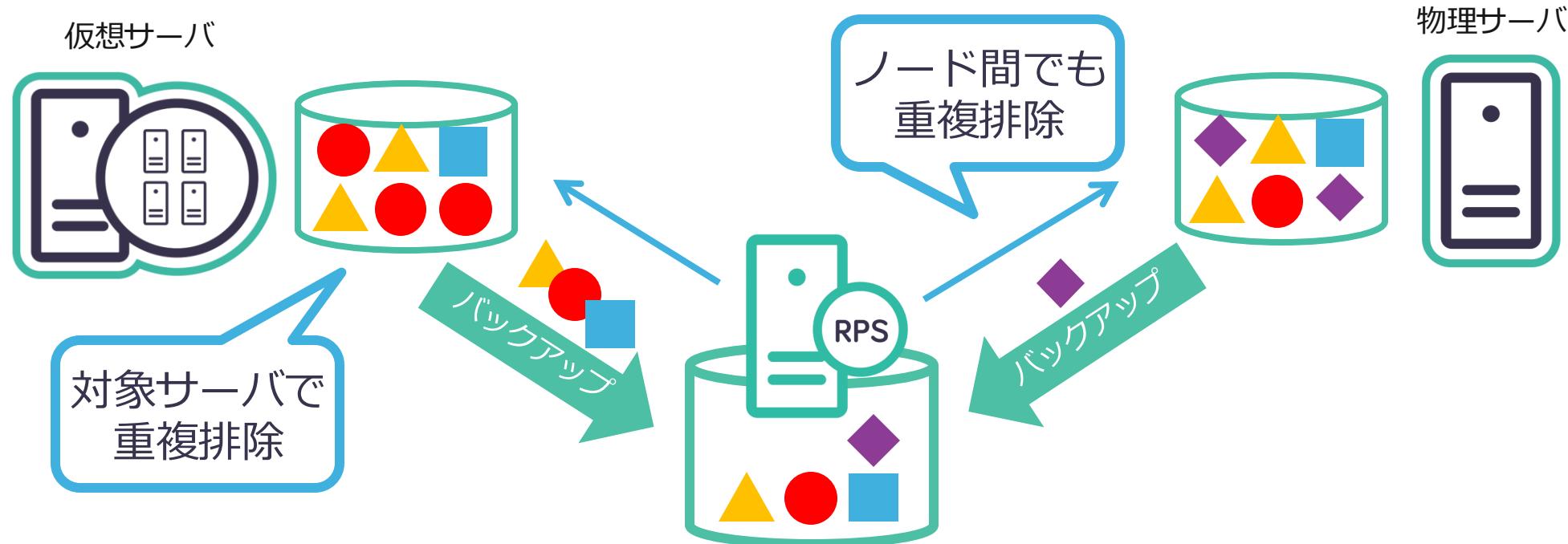




重複排除によるバックアップデータの大幅削減

こんな時に
便利！

- バックアップデータ容量を少なく保存したい
- ネットワークに流れるデータ量を少なくしたい

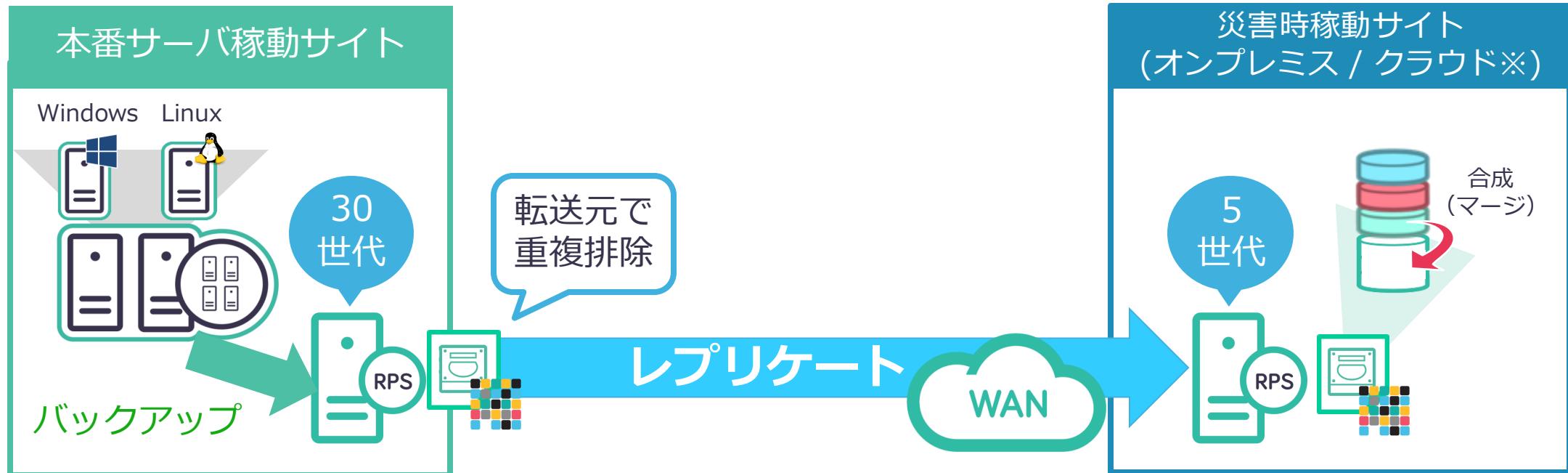




バックアップ データの遠隔地への転送

こんな時に
便利！

- バックアップ データを遠隔地に保管しておきたい
- WANに流れるデータは**更に**少なくしたい



※ レプリケート先には復旧ポイントサーバ (RPS) が必要です。Arcserve UDP Cloud Hybrid には RPS がインストールされており、レプリケート先として利用することができます。

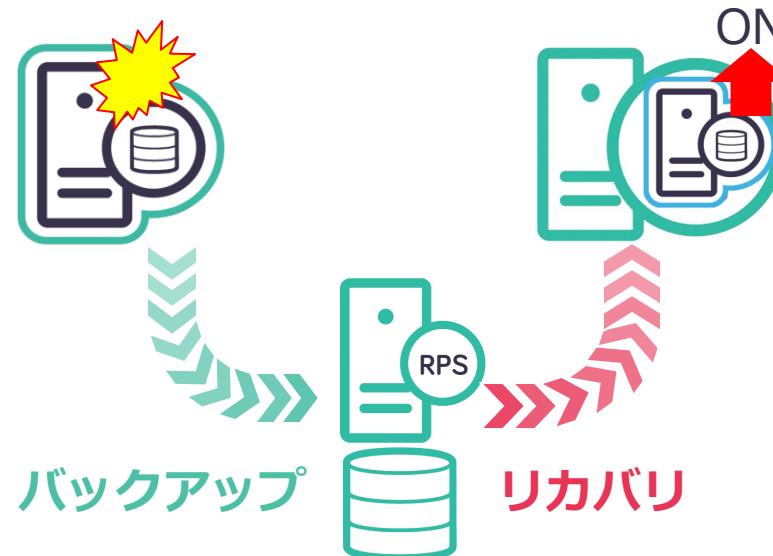


仮想スタンバイ サーバによる業務継続

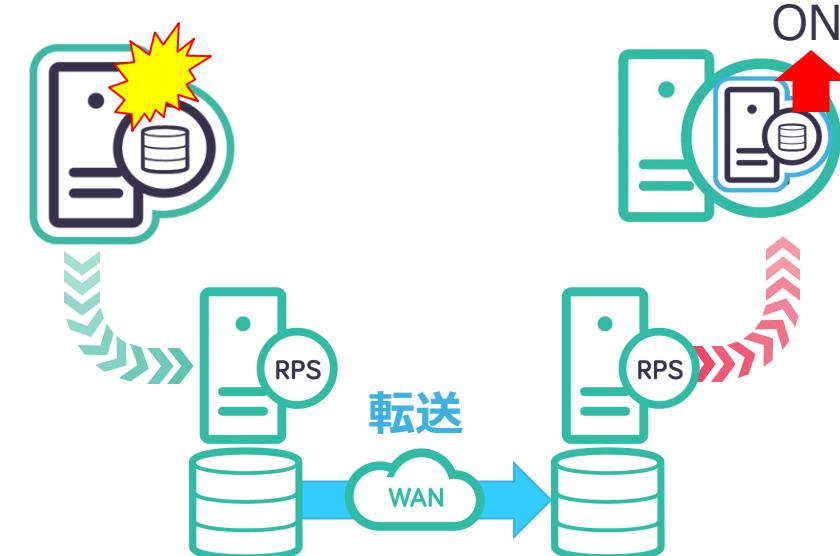
こんな時に
便利！

- 障害時にリストア作業せず、より早く環境を利用したい
- 災害時には遠隔地またはクラウドでサーバを即継続利用したい

同一サイト内での利用



遠隔地 / クラウド(*)での利用



復旧済みの仮想マシンで
素早く業務を再開

ローカル / 遠隔地でも構成
できる

複数のスナップショット
から適切な時点に戻せる

※ AWS EC2、Microsoft Azure、Arcserve UDP Cloud Hybrid をサポート

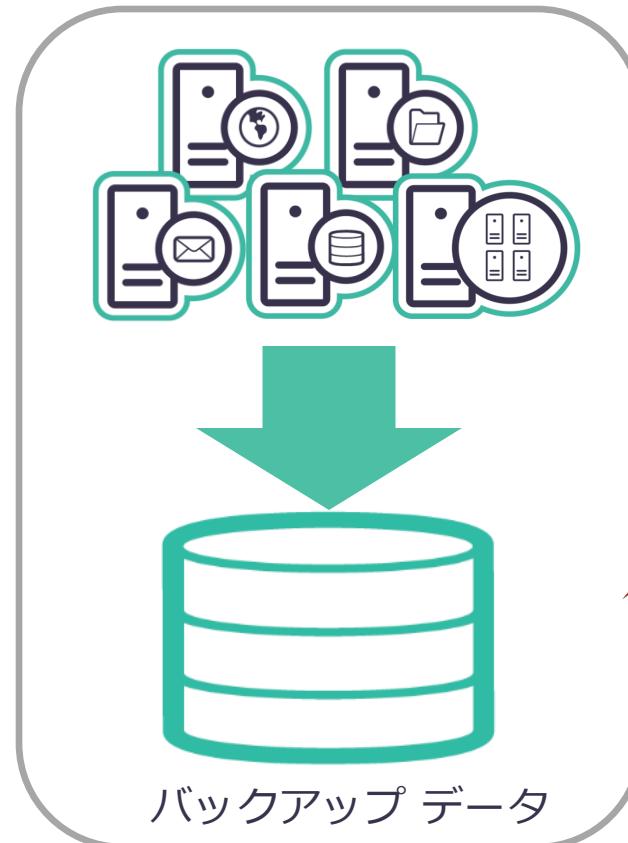
© 2024 Arcserve. All rights reserved



インスタント VM で本番サーバの替わりを即利用

こんな時に
便利！

- 予算が無く、代替環境をあらかじめ用意していない場合でも
直ぐに業務を再開したい
- ウィルスなどの被害時に**本番サーバの替わり**を用意したい



数ステップの
簡単なウィザードで
僅か10分ほどで起動

インスタントVM

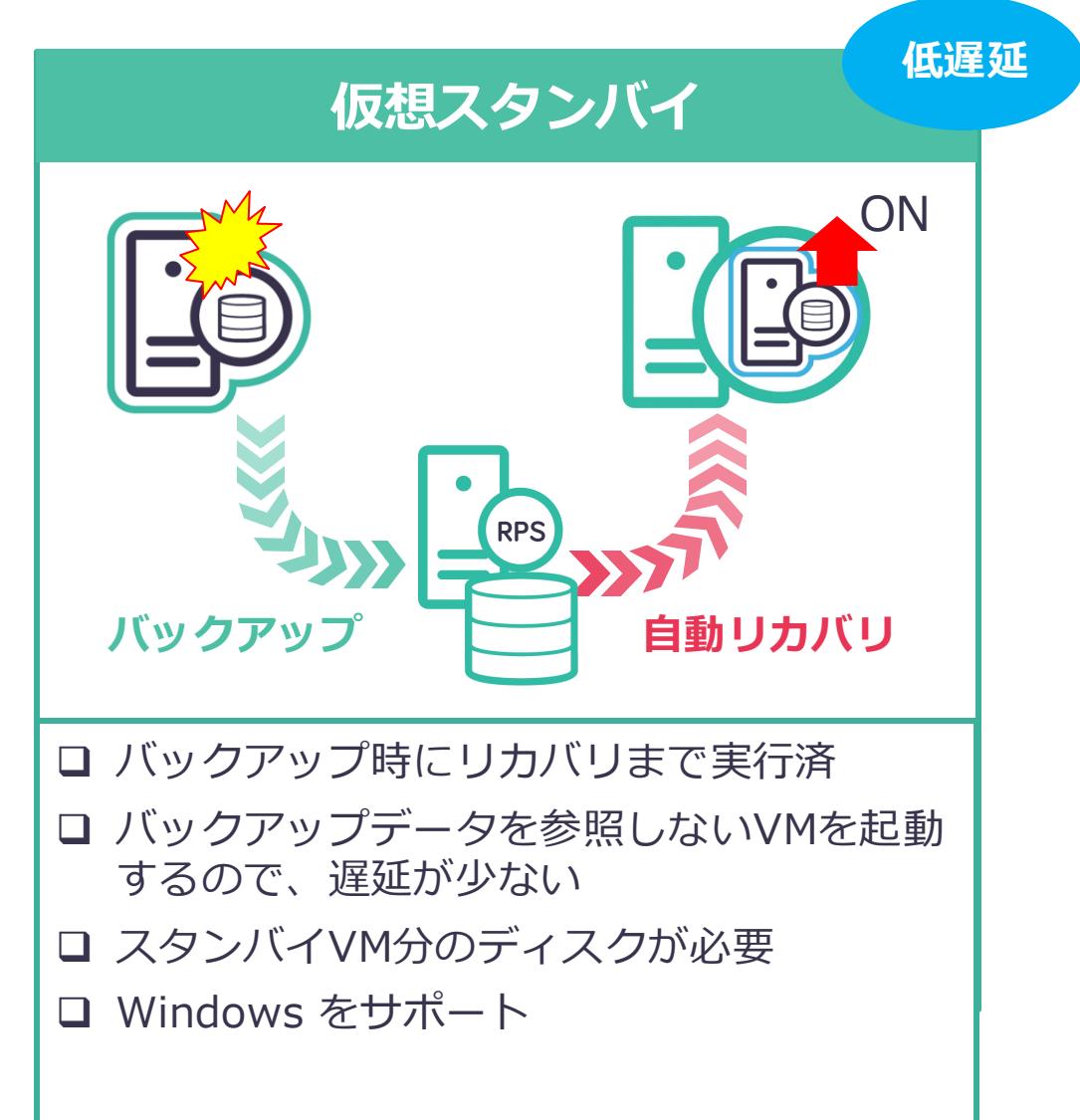
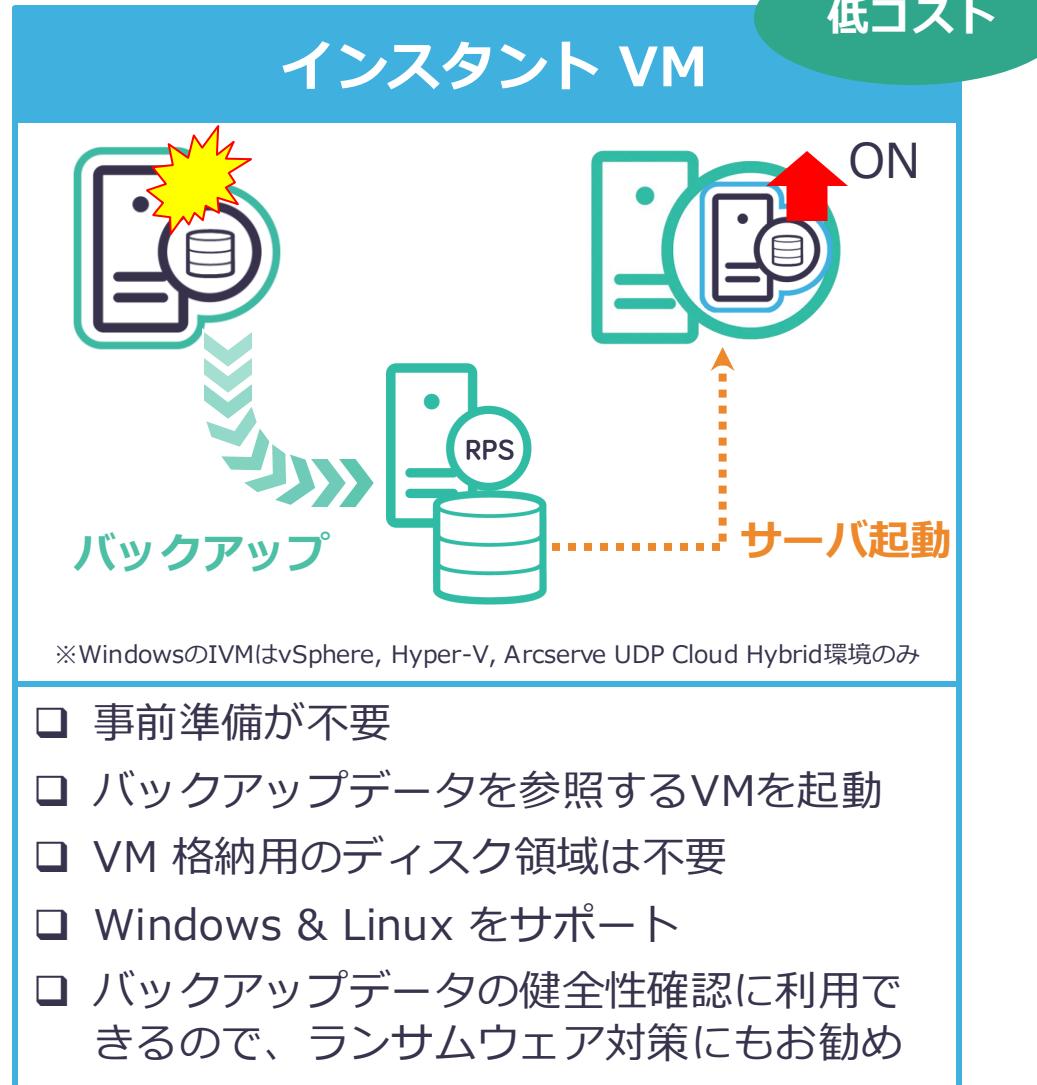


復旧先の仮想環境
(VMware vSphere / Microsoft Hyper-V / Nutanix AHV
/ AWS EC2 / Microsoft Azure / Arcserve UDP Cloud Hybrid) *

バックアップデータから
直接サーバ起動

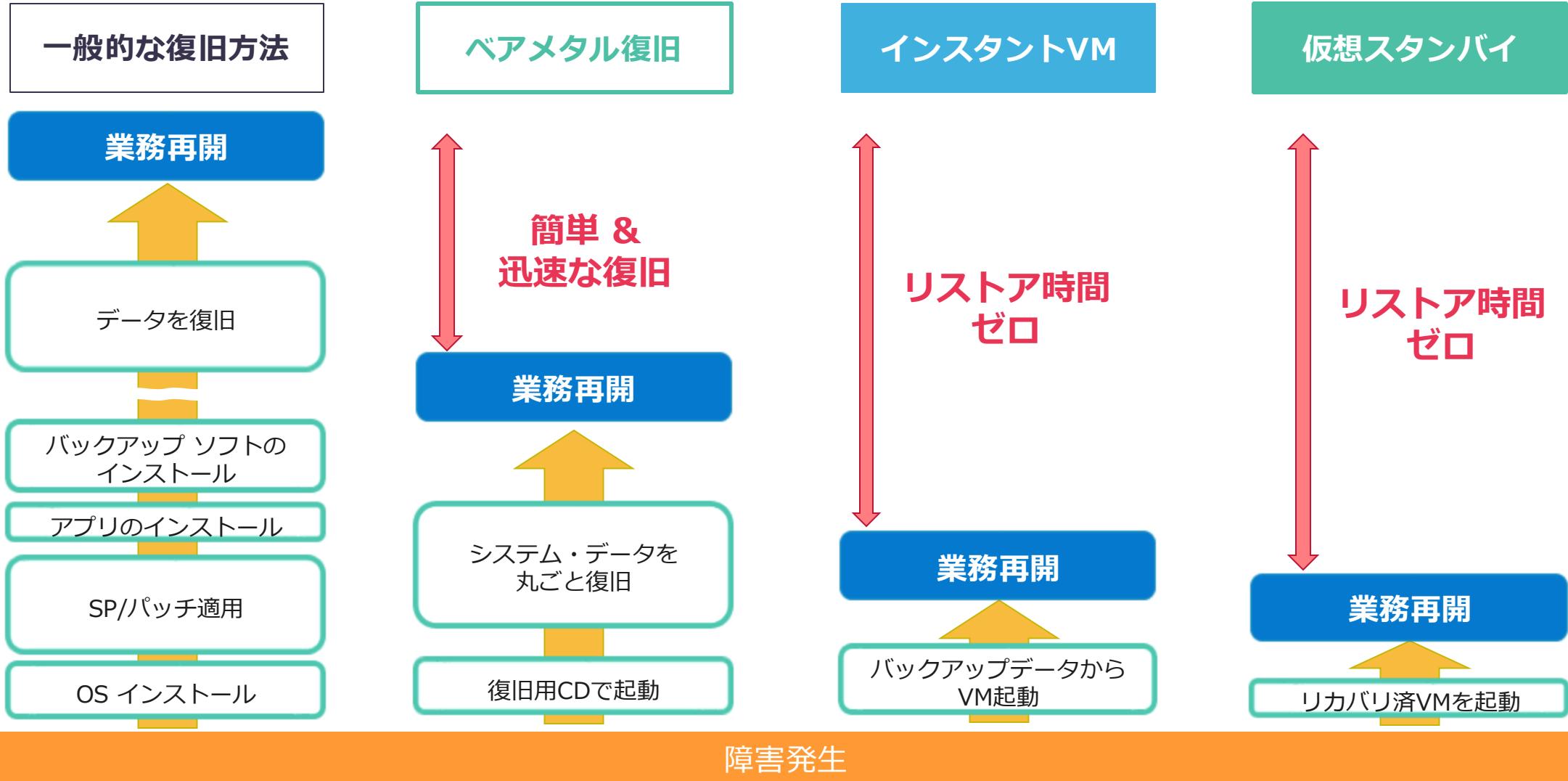
*Windows のインスタント VM は VMware vSphere, Microsoft Hyper-V, Arcserve UDP Cloud Hybrid 環境のみ

インスタント VMと仮想スタンバイとの違い





<参考> 業務再開までの時間で比較

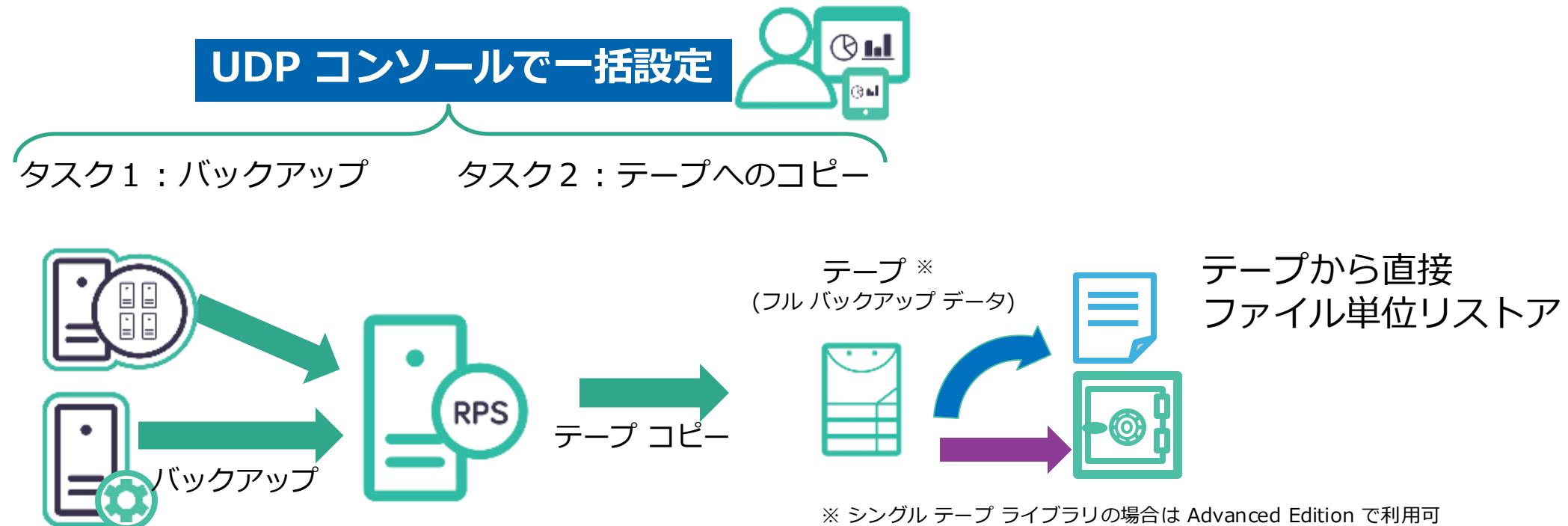




テープへのコピー : Arcserve Backup との連携

テープへ復旧ポイントのコピーを保存し、データ保護を強化

監査対応のため**長期間**バックアップ データ保管や、**災対**サイトへの移送に対応



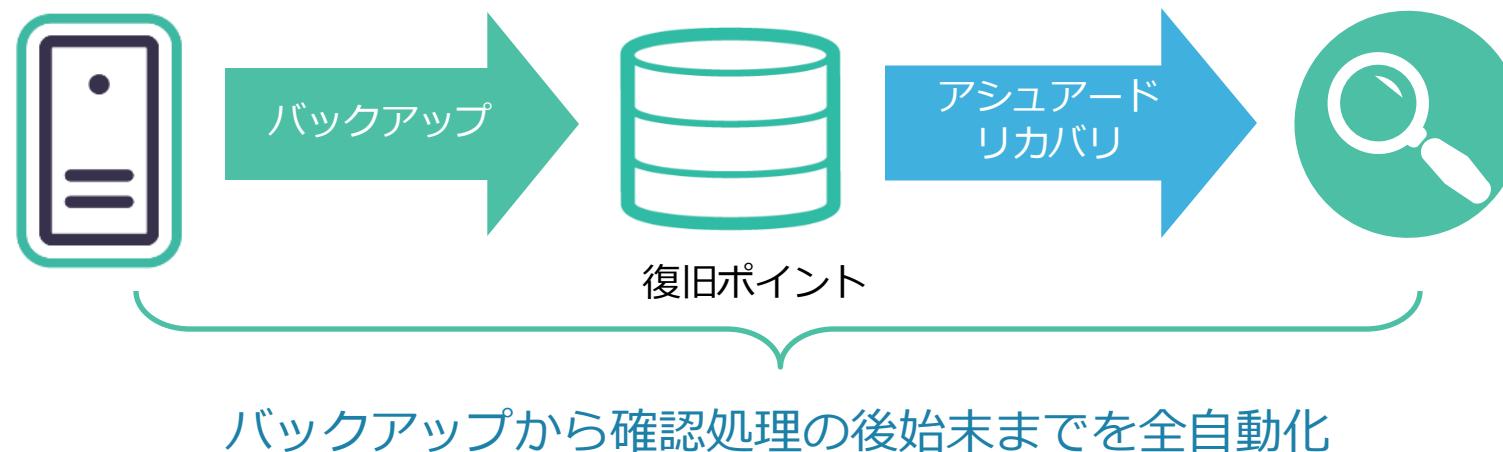


アシュアード リカバリ：バックアップデータの健全性を自動確認

バックアップデータがリストア可能であることを手間をかけずに自動で確認

9.0

Arcserve UDP 9.0 からは標準機能として Advanced Edition で利用可能に



バックアップとレプリケート
後のデータを確認

手動、もしくは曜日・時間
を指定して実行

確認結果を
メールで通知

アシュアード リカバリ：復旧ポイントを確認する2つの方法



インスタントVM方式



インスタントVM

**本番ネットワーク
とは分断して起動できる！
確認用ディスク スペース
は不要！**

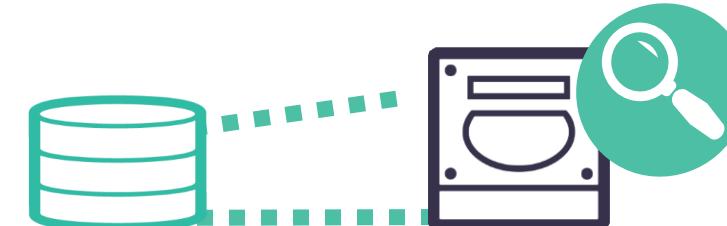
[確認できるポイント]

- ・システムが起動可能か？
- ・サービス実行が可能か？
- ・アプリケーション サービスの整合性は取れているか？
(カスタムスクリプトを利用)

[利用条件]

- ・インスタントVMの実行条件を満たす物理/仮想OSを含むバックアップ
- ・インスタントVMの仮想基盤は vSphere / Hyper-V / AHV (Linux VM のみ)

インスタント仮想ディスク方式



インスタント仮想ディスク

**仮想環境不要！
確認用ディスク
スペースも不要！**

[確認できるポイント]

- ・ファイル システムの整合性が取れているか？
- ・ディスクに破損はないか？
✓ chkdsk による確認も可能
- ・特定ファイルの読み出しが可能か？
(カスタムスクリプトを利用)

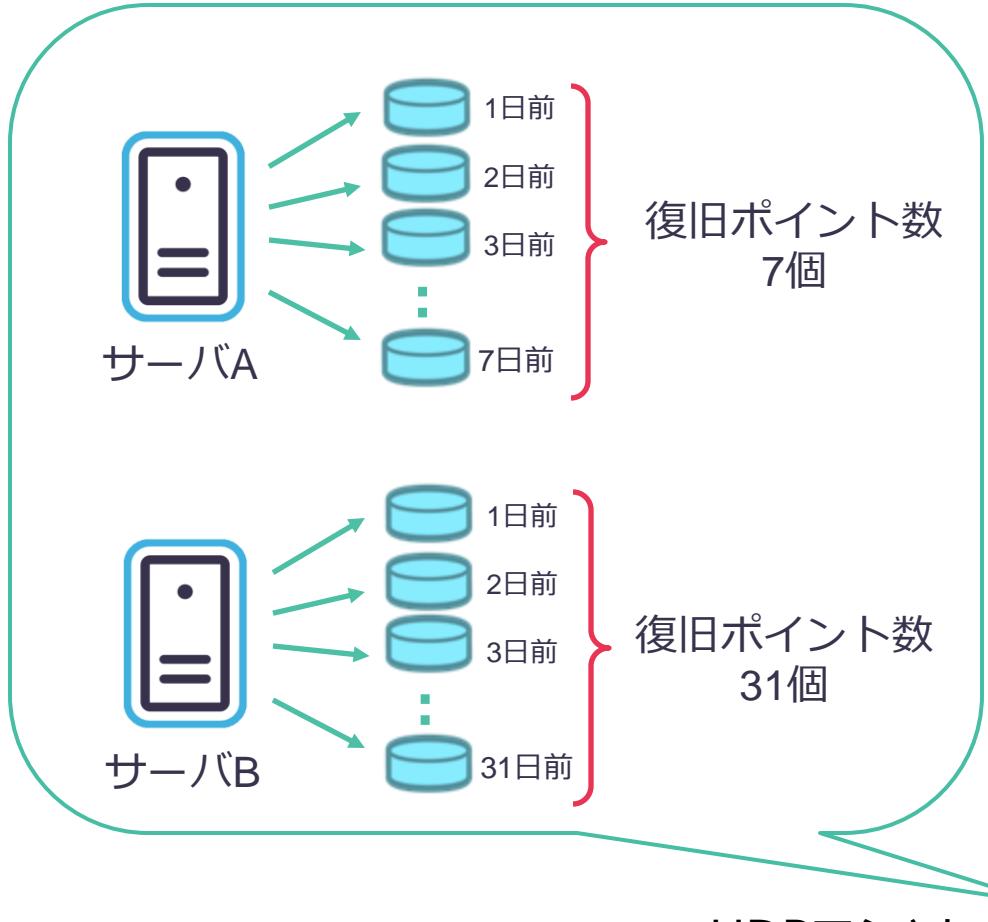
[利用条件]

- ・Windows のデータ ボリューム、共有フォルダ、Microsoft 365、Oracle RMAN のバックアップ

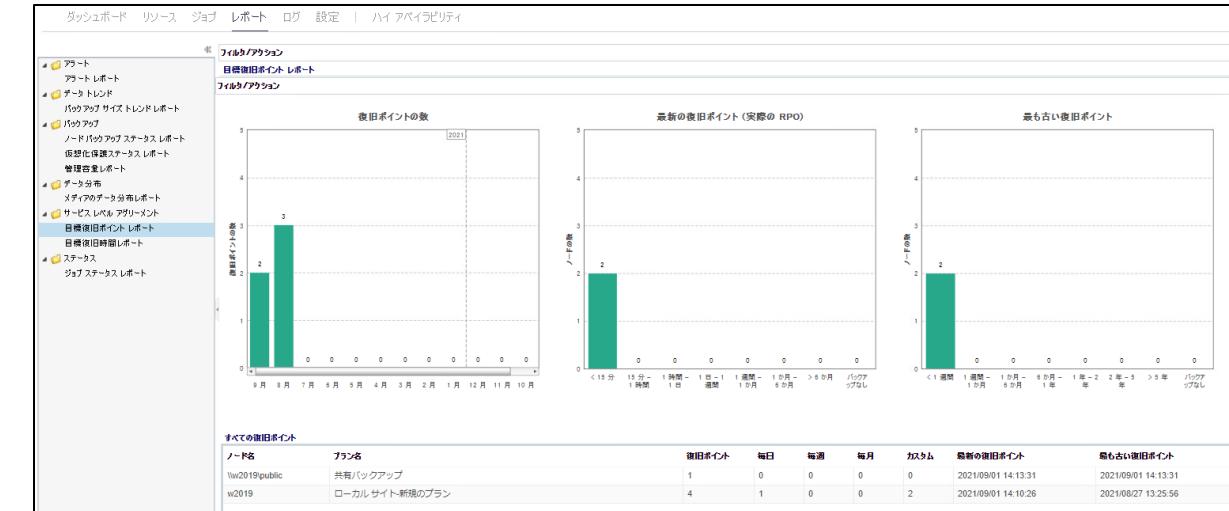


RPO の可視化 (SLA レポート)

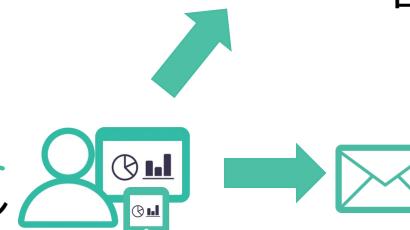
サーバ毎にどの時点まで戻せるかを可視化



目標復旧ポイント レポート画面



一定期間内の復旧ポイント数を各ノード毎に表示



UDPコンソール

自動作成したレポート
をメールで転送可



RTO の可視化 (SLA レポート)

設定した目標復旧時間内に復旧できるかを可視化

測定対象

アシュアードリカバリ BMR



インスタントVM



ファイルリストア



VM復旧



目標復旧時間レポート画面



実際の復旧時間と、目標の復旧時間を比較した結果を色分け表示

UDPコンソール



自動作成したレポートをメールで転送可



Arcserve Backup の利用で、より多彩な要件に対応

UDP で対応するバックアップ構成を Arcserve Backup でさらに拡張

ファイル/フォルダ単位の バックアップ

特定のファイルやフォルダのみを指定して
バックアップ



Unix サーバのバックアップ

仮想環境に統合できない Unix サーバも
まとめてバックアップ



テープ バックアップの強化

D2Tでの直接バックアップや複数ドライブ
搭載のテープライブラリの利用をサポート



Arcserve Backupのその他機能

Arcserve Backupのエージェント／オプション
機能をすべて利用可能※



Enterprise
Module



SAN
Option



Agent for
Lotus
Domino

etc

※日本でサポートされているエージェント・機能のみ



災害対策をさらに強化

Arcserve Replication/HA の機能を利用し、より細かな災害対策要件にも対応

ファイル単位のレプリケーション

ファイルサーバのリアルタイム レプリケーションにより、鮮度の高いデータを遠隔保護



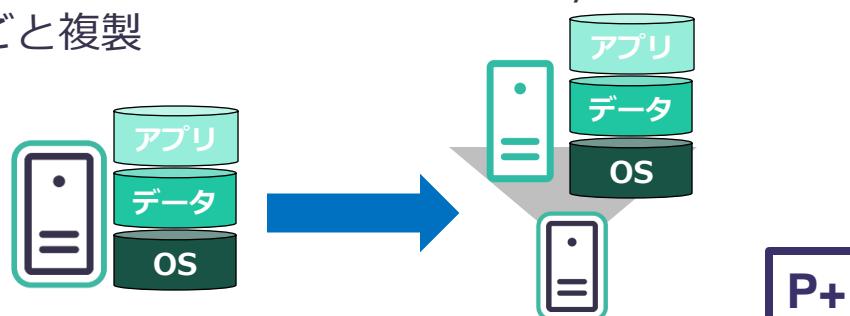
アプリケーションの可用性向上

MS SQL ServerやOracleデータベースなど
アプリケーションのデータを複製、スイッチ
オーバーまでサポート



OS/データのまるごと複製にも対応

フル システム シナリオで、OS/データを丸
ごと複製



Arcserve RHA その他機能

Arcserve Replication/HAのシナリオおよび
機能をすべて利用可能 *



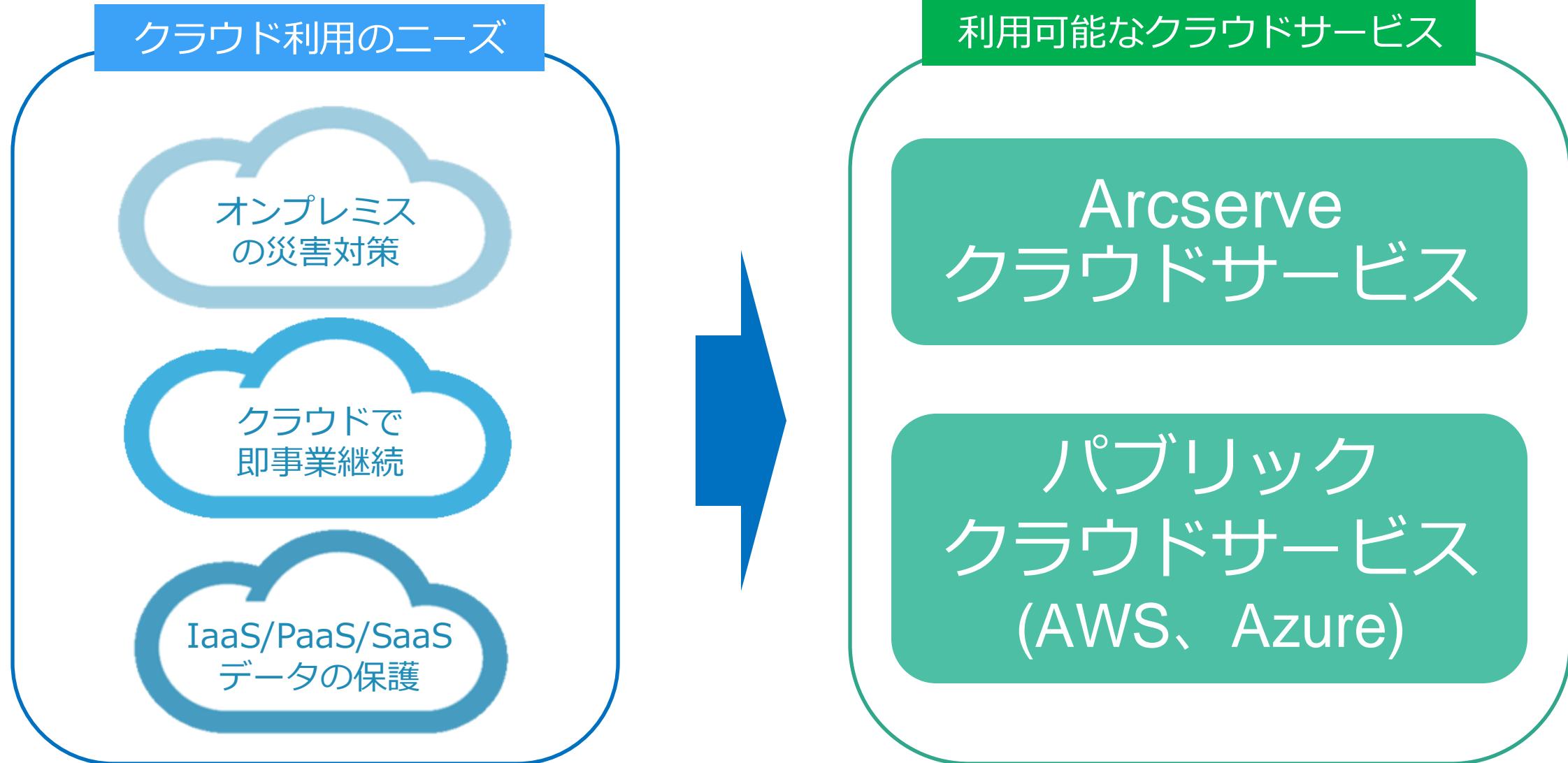
*日本でサポートされているシナリオ・機能のみ



2. 様々なクラウド利用のニーズへの対応

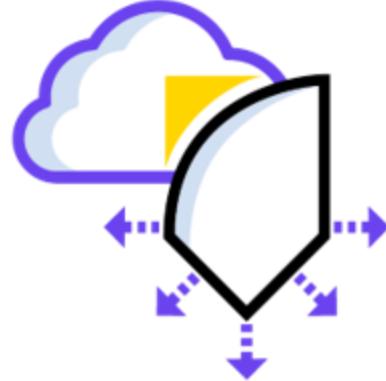


様々なクラウド利用のニーズへの対応

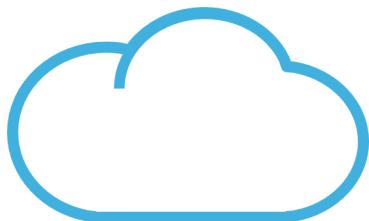




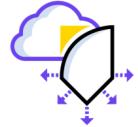
利用可能なクラウドサービス①



Arcserve クラウドサービス



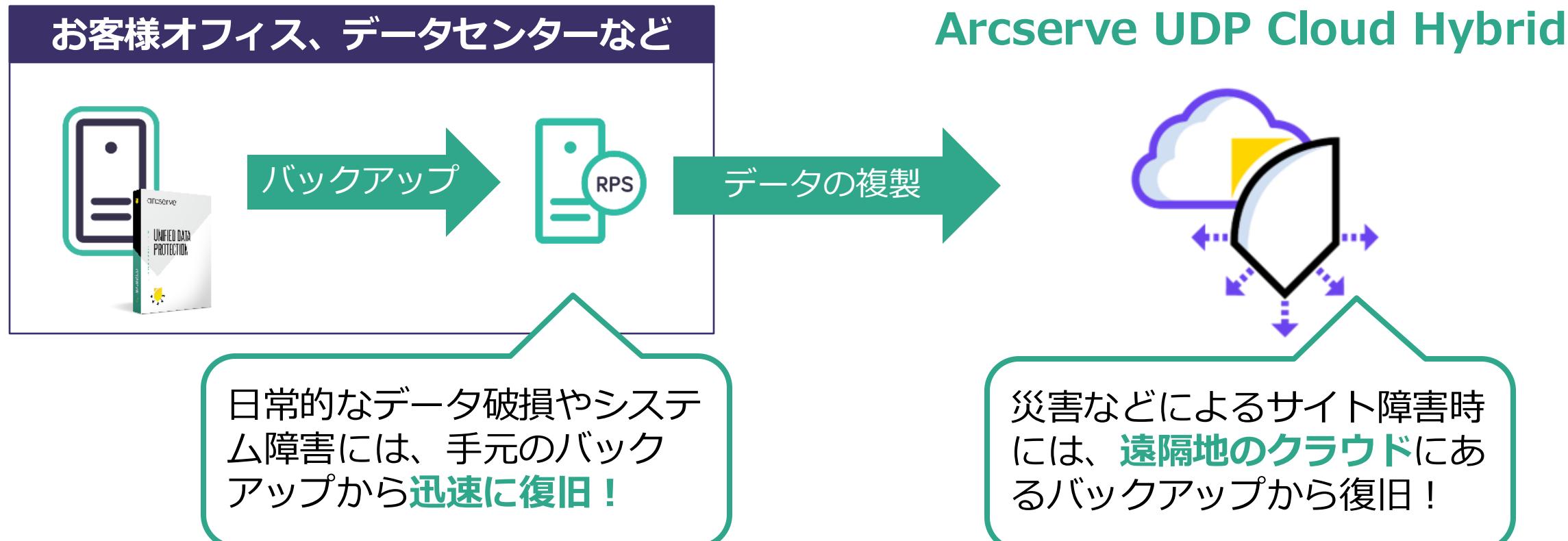
パブリック クラウドサービス



Arcserve クラウドサービス ～ Arcserve UDP Cloud Hybrid とは～



Arcserve UDP / Arcserve UDP Appliance が持つ復旧ポイントサーバ (RPS) 間のレプリケート (複製) 機能を活用し、オンプレミスでの利便性の高いバックアップと、災害に備えた遠隔バックアップの「ハイブリッド」を実現するサービスです。

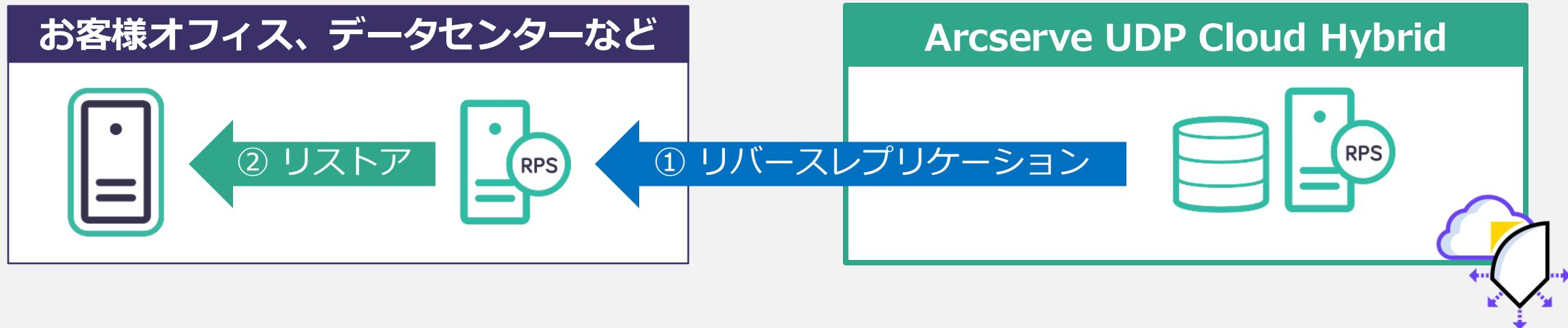




Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン1 ～ 災害によるサイト障害からシステムを復旧



オンプレミスのバックアップ データが災害などで失われた場合には、
クラウドから RPS へ逆レプリケーション(リバースレプリケーション機能)し (①) 、
そのバックアップ データからシステムをリストアします (②) 。



※ ファイル/フォルダ の直接リストアも可能です。ただし、Linux の場合 Compute リソースの購入が必要です。

※リバース レプリケーション機能により、バックアップ データをクラウドから複製する際のお客様側ホスト名の提供や
ポート開放は不要です。

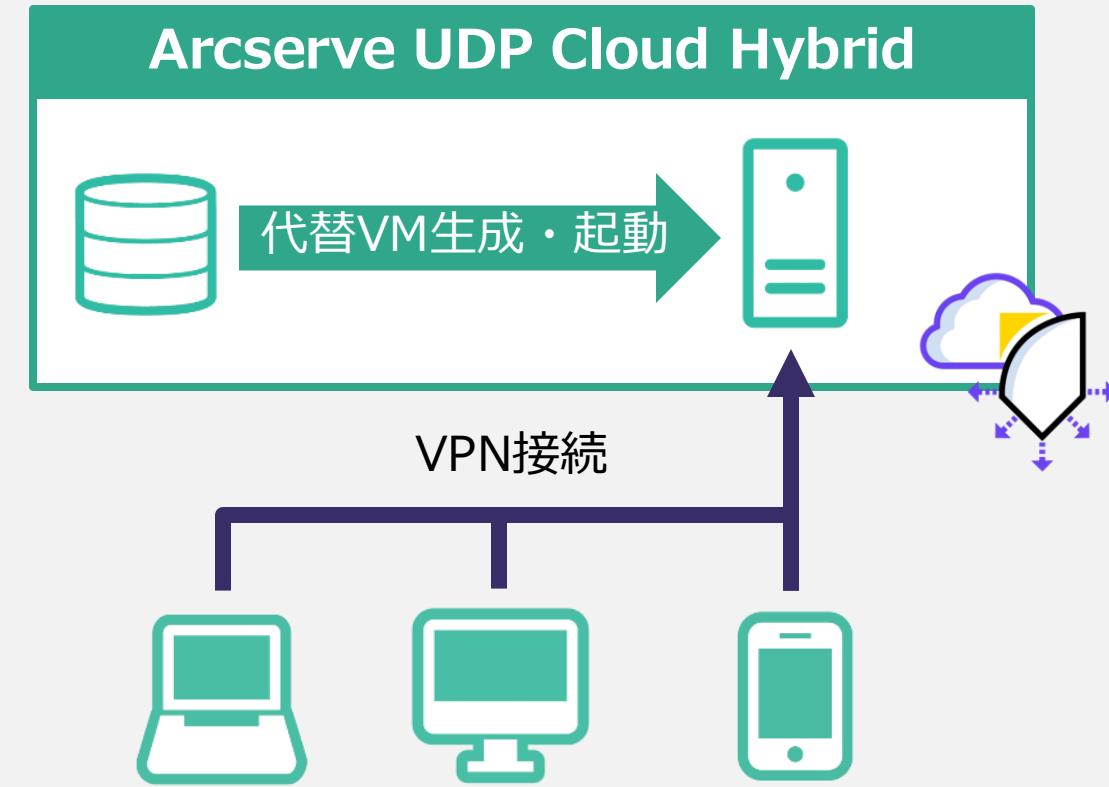


Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン2

～ 災害時にクラウド上でシステムを継続利用



本番システムの障害時には、インスタントVMまたは仮想スタンバイ機能で、本番システムの代替仮想マシン（VM）を起動。VPN経由で代替VMにアクセスし業務を継続できます。

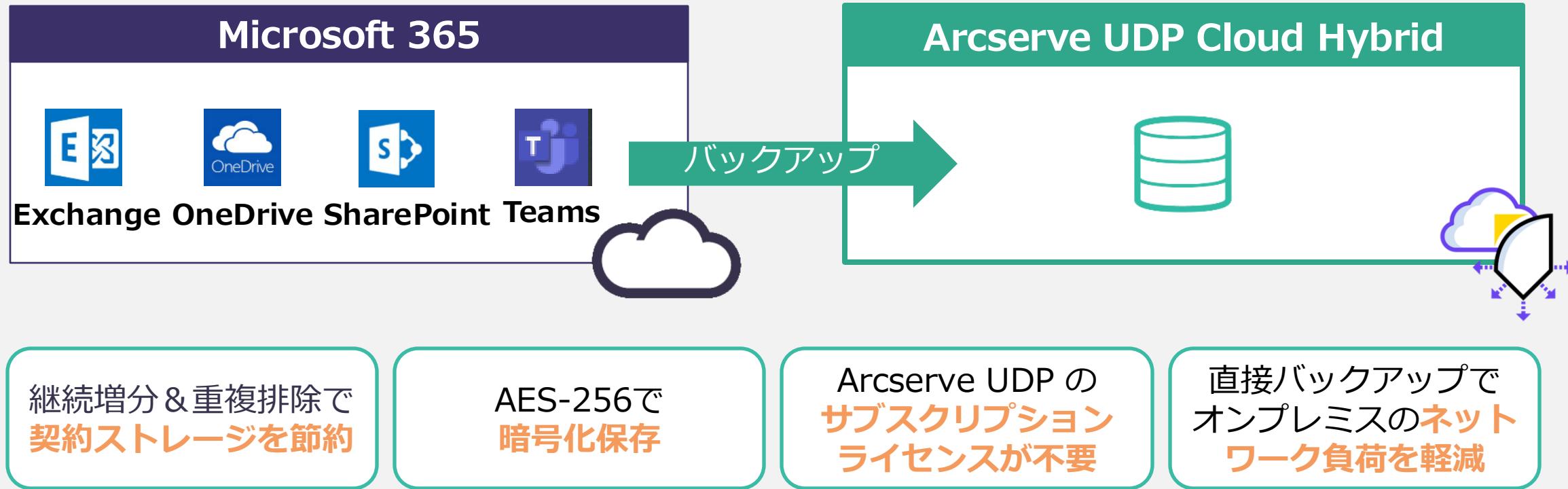




Arcserve UDP Cloud Hybrid の利用シーン3 ～ Microsoft 365 のデータを直接クラウドへバックアップ



Microsoft 365 に限り Arcserve UDP Cloud Hybrid に**直接バックアップ**できます。
しかも Arcserve UDP の**サブスクリプションは不要**！
退職者アカウントなどの保存期間を過ぎたファイル/メールを復旧できます。

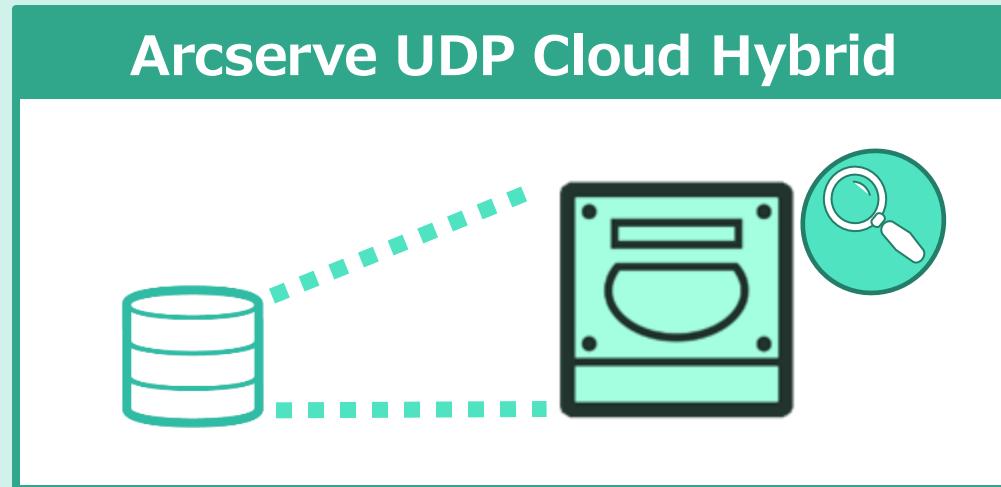




Arcserve UDP Cloud Hybrid で使えるアシュアード リカバリ機能 ～レプリケートされたデータがリストア可能か自動でチェック

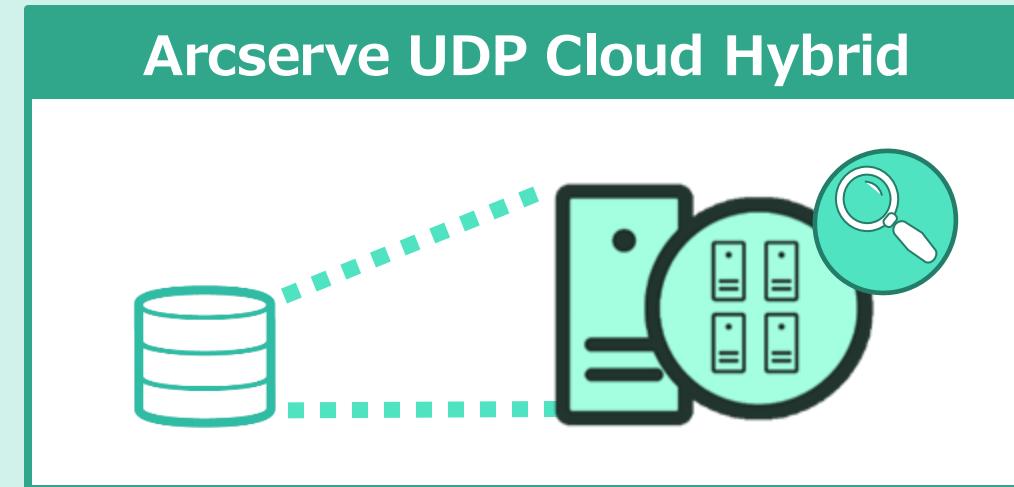


Windows/Microsoft365 のバックアップデータは**インスタント仮想ディスク方式***¹で状態確認



- ✓ スケジュールを指定して**自動実行**
- ✓ 確認結果を管理者へ**メールで通知**

Windows/Linux のバックアップデータは**インスタントVM方式***²で起動確認



*¹ CHKDSK でファイルシステムの整合性を確認できます。

*² Compute リソースの購入が必要です。



2つのコスト メリットで “はじめやすい”



導入
コスト



ランニング
コスト



クラウド インスタンスの構築/設定作業は一切不要

- ◆サービス契約後、クラウドを利用したバックアップ/アーカイブ運用を すぐに開始できる状態でクラウド アカウントをご提供します
- ◆インスタンス構築に関連する面倒な設定作業は一切不要。
ネットワークやセキュリティも設定済なので、すぐに運用が始められます



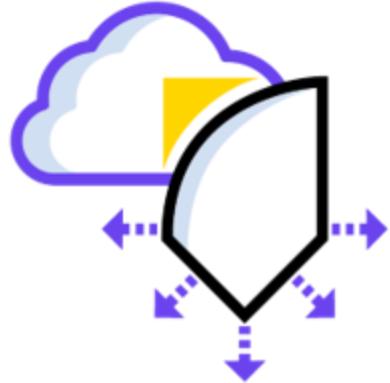
ご契約いただいたストレージ範囲内なら台数無制限で保護

- ◆転送量に対する課金がなく、ストレージ課金も年契約で固定なのでコスト見積もりも容易。契約期間中でも容量増加の追加契約ができるので契約時の容量が不足して運用を止める心配がありません
- ◆ストレージやインスタンスのメンテナンスは、全てArcserveにお任せ、メンテナンス作業は一切不要です

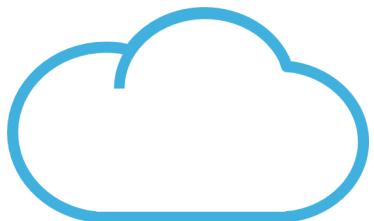




クラウド対応



Arcserve クラウドサービス



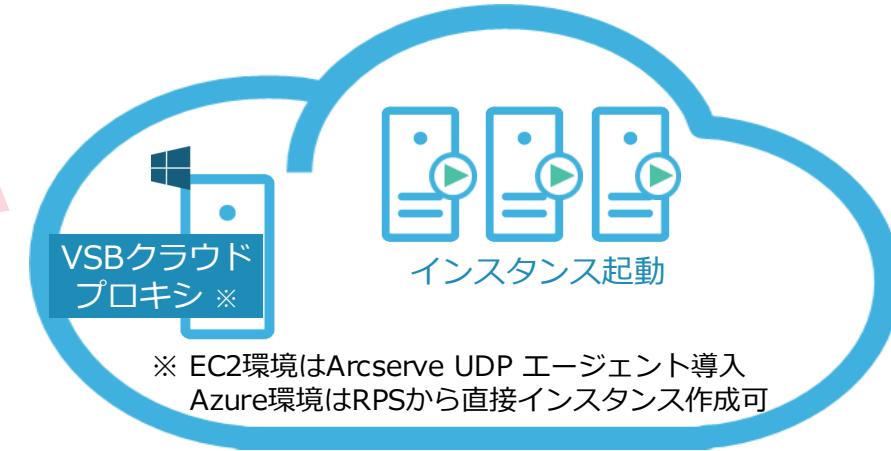
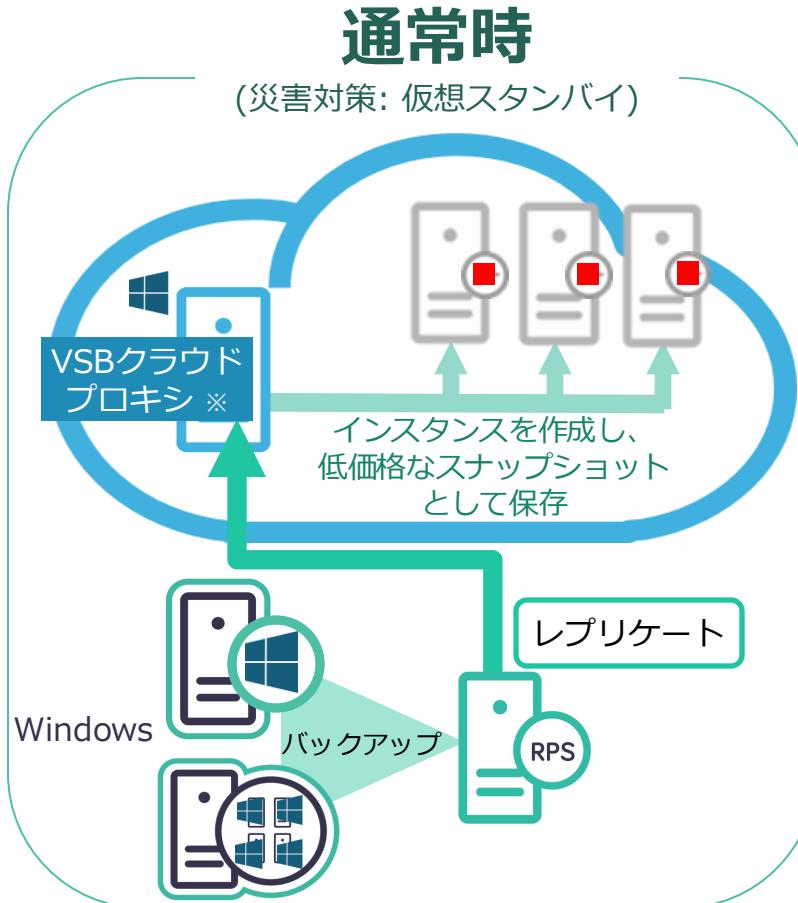
パブリック クラウドサービス



Amazon EC2 および Microsoft Azure を利用した Windows 環境の事業継続



リストア時間 “ゼロ” でクラウドに即事業継続



作成済みインスタンスを起動する
だけで業務サービスを即再開

大規模災害対応

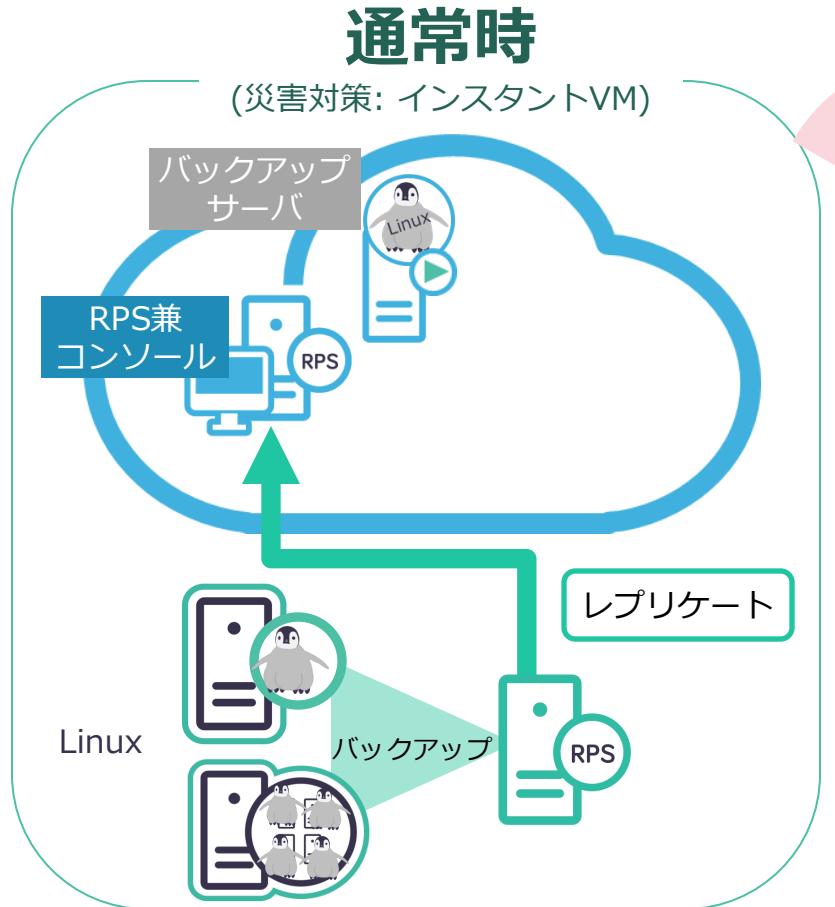
オンプレミスへの復旧も可
(RPSレプリケート機能利用)



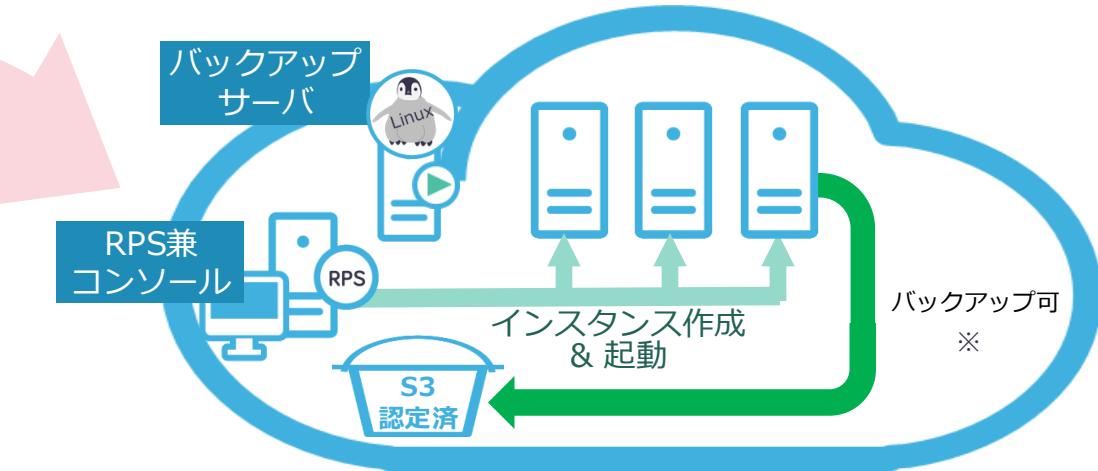
Amazon EC2 および Microsoft Azure を利用した Linux 環境の事業継続



リストア時間 “ゼロ” でクラウドに即事業継続



→ 災害時



わずか数ステップでインスタンス作成し、業務サービスを即再開

大規模災害対応

インスタントVMから
オンプレミスへのBMRも可

※ インスタントVMを S3 に直接バックアップし、オンプレミスへBMR可能

© 2024 Arcserve. All rights reserved



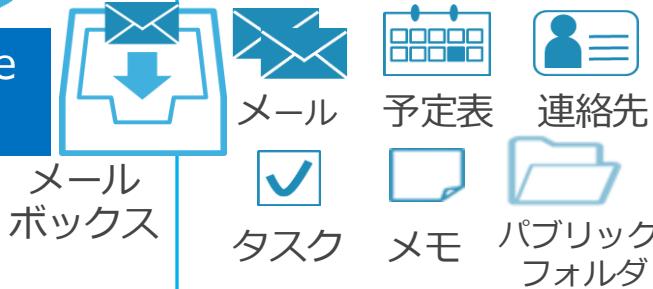
Microsoft 365 のバックアップ

重要データや退職者のメールをクラウドやオンプレミスにバックアップ
一括/個別アイテム単位で復旧



Microsoft 365

Exchange Online



- 完全削除アイテム保持期間 => 14日
- 削除済みメールボックス保持期間 => 30日

SharePoint Online



サイト全体



個別ドキュメント

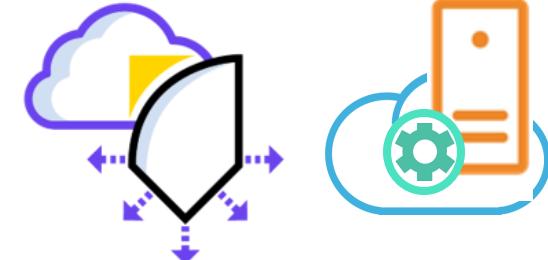


- テナント初期容量 1TB + 10GB × ユーザ数
- 削除済みアイテムの保持期間 => 93日

OneDrive



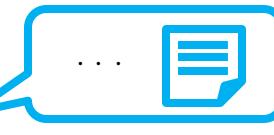
個人データ



Teams



メッセージ



共有ファイル



- 削除済みアイテム => 保持ポリシーに基づき削除

オンプレミス

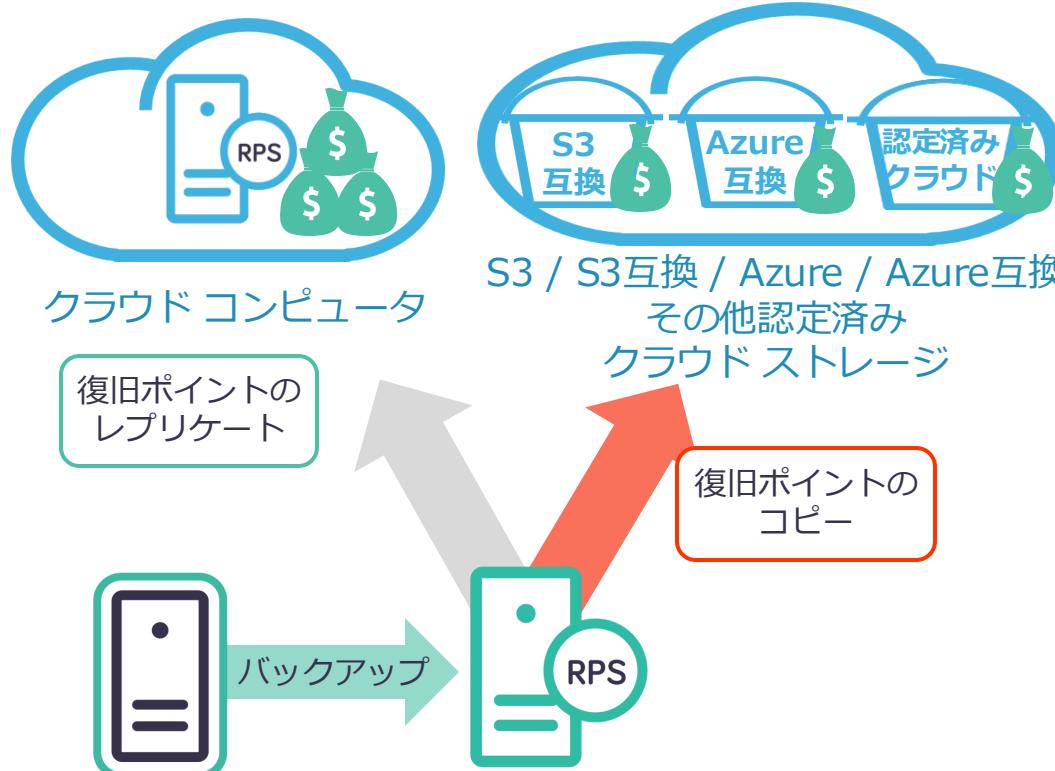




クラウド ストレージへの二次バックアップ[®]

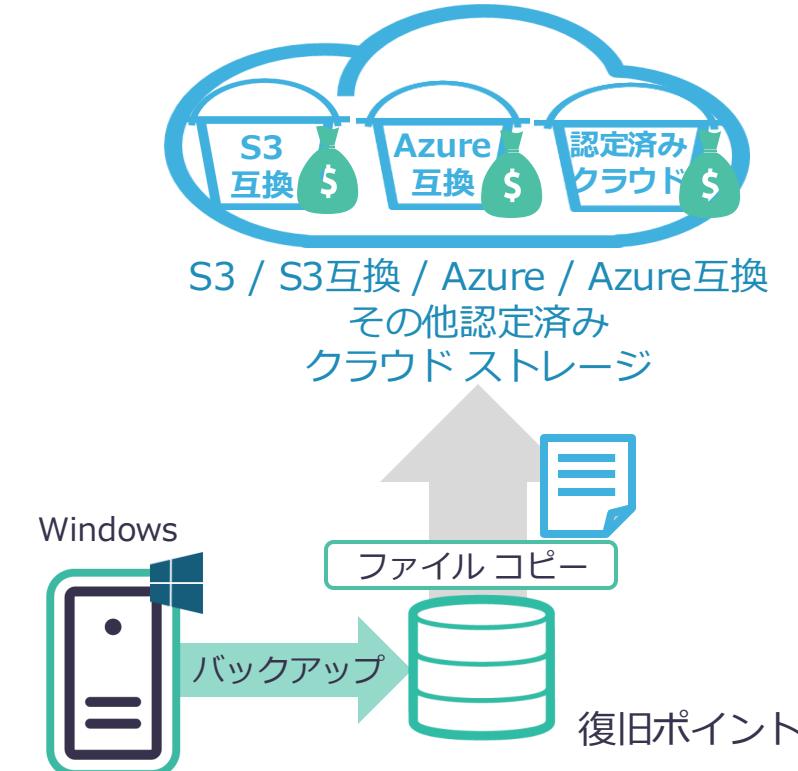


バックアップ データのクラウド保管



クラウド ストレージでコストを削減

重要ファイルをクラウド保管



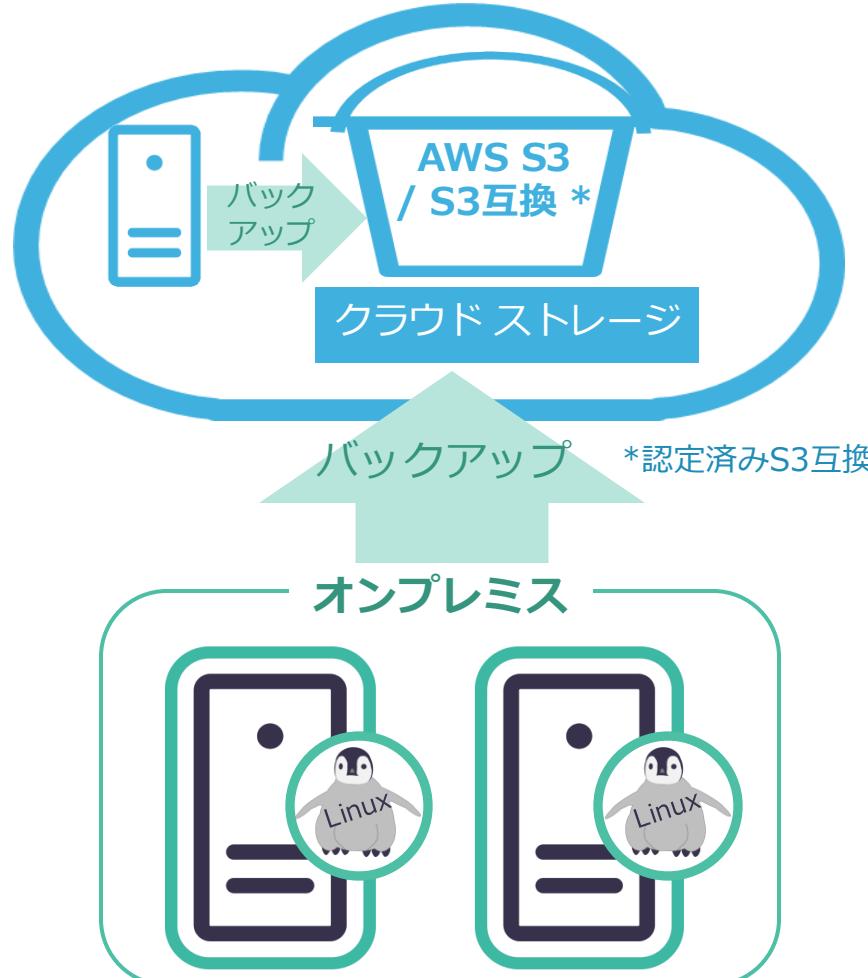
クラウド ストレージを自由に選択



Amazon S3 / S3 互換への直接バックアップ[®]



手軽なクラウドストレージを利用して Linux 環境の災害対策を実現



オンプレミスの
ディスク削減

Windows サーバ(RPS)不要

オンプレミスへのBMRも可

※ クラウドストレージからのファイル単位リストア可



様々なクラウド利用のソリューションを提供

オンプレミス の災害対策

オフサイト保管:

- UDP Cloud Hybrid / EC2 / Azure への RPS間レプリケート

- 復旧ポイント(バックアップデータ)のコピー

- ファイル コピー

ダイレクト バックアップ:

- Linux サーバを S3 に直接バックアップおよびオンプレミスへの BMR

クラウドで 即事業継続

バックアップデータを 用いた事業継続:

- UDP Cloud Hybrid への仮想スタンバイ、インスタントVM

- AWS EC2 / Azure への仮想スタンバイ、インスタントVM

IaaS/PaaS/SaaS データの保護

IaaS/PaaS:

- クラウド コンピュータのバックアップ

- EC2インスタンスからオンプレミスへのBMR

- EC2 / Azure のLinuxインスタンスのバックアップおよびBMR

SaaS:

- Microsoft 365 バックアップ (Exchange / SharePoint / OneDrive / Teams)

※ “■”部分は Arcserve UDP Cloud Hybrid 対応



3. セキュリティの確保・ ランサムウェアへの対策



Arcserve UDPコンソールを多要素認証で保護

管理画面へのログオン方法として多要素認証（MFA）が利用可能に

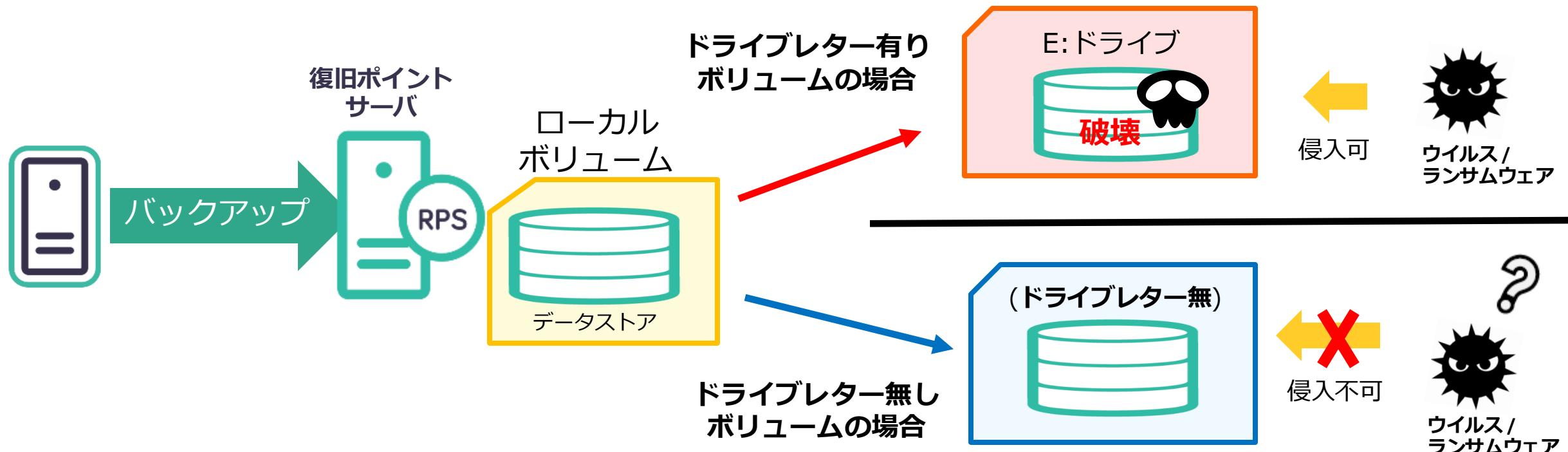


パスワード入力に加えて、確認コードの受信/入力を必要とすることで
不正アクセス リスクを低減

復旧ポイントサーバのバックアップデータ保護



復旧ポイントサーバ (RPS) 内のエクスプローラーから見えない領域にバックアップデータを保管

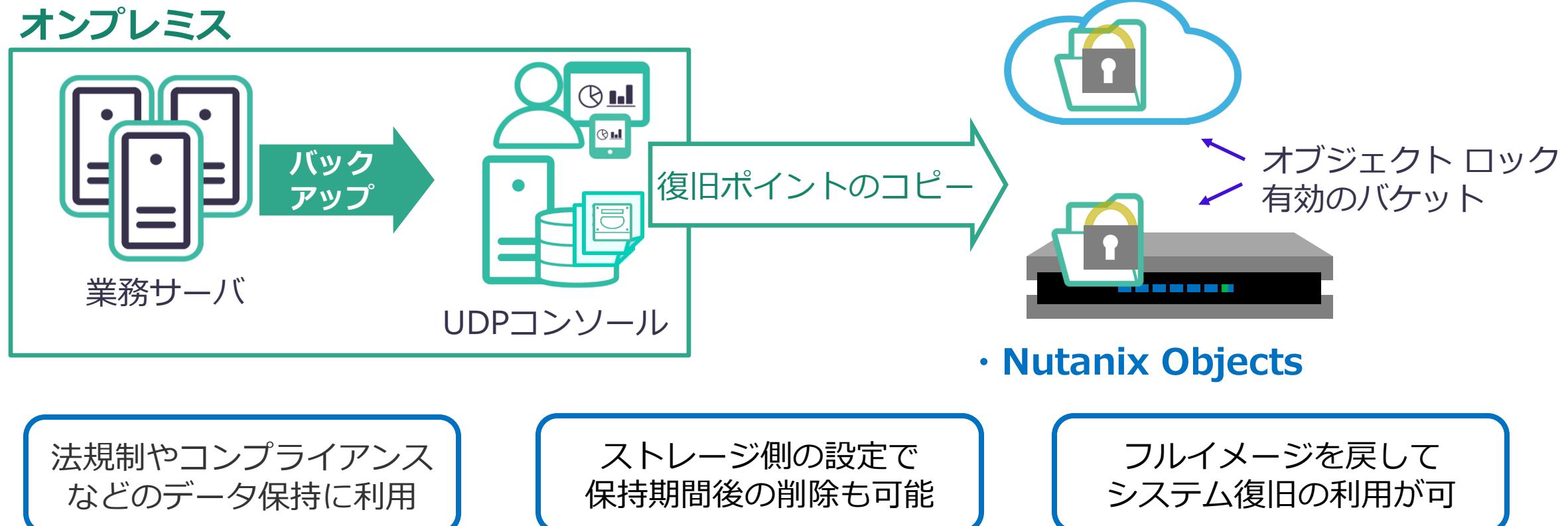


RPS 内に侵入したウィルスやランサムウェアからバックアップデータを保護



オブジェクトロックを活用しランサムウェア対策

「復旧ポイントのコピー」が不变ストレージ（オブジェクト ロック機能）に対応
バックアップデータの改ざんを防止





4. ライセンス



ライセンスの課金対象

ライセンスは「**バックアップ対象**」にのみ必要です。

バックアップ対象ノード数またはバックアップ対象サーバのソケット数のライセンスが必要です。
コンソールおよび 復旧ポイントサーバ (RPS : バックアップ保存先サーバ) にライセンスは不要です。

バックアップ対象



物理サーバ



仮想サーバ



クライアントPC



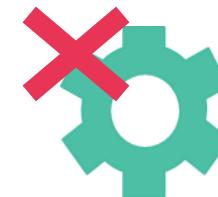
共有フォルダ



Microsoft 365



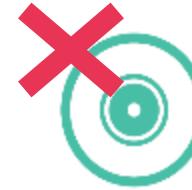
Exchange Online
SharePoint Online
OneDrive
Teams



特定のオプション



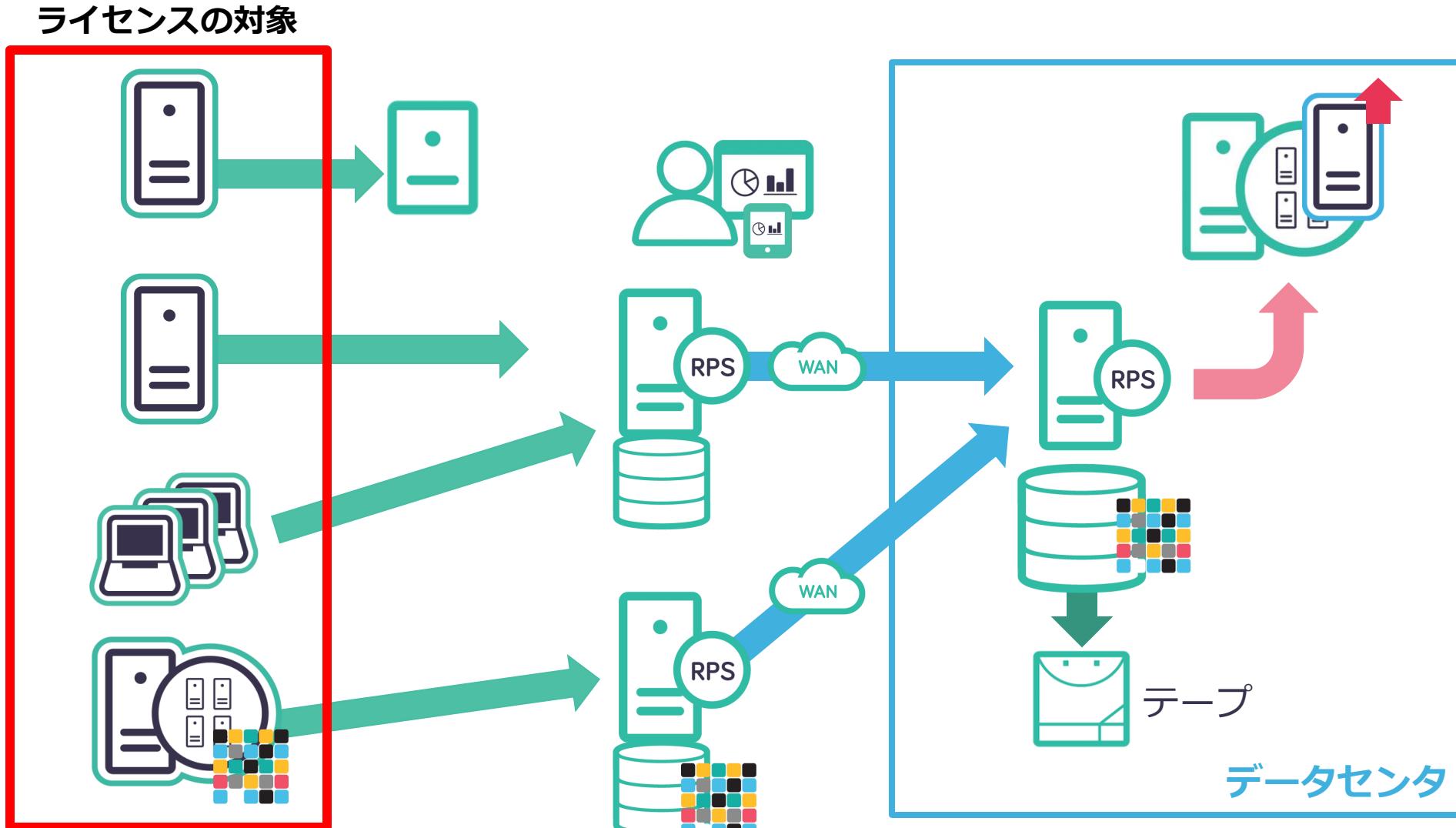
管理コンポーネント



インストールメディア



機能を追加してもライセンスは変わりません！



Editionの種類 と 含まれる機能



Edition	サーバ用				PC用	同梱 ライセンス
	Advanced/ for Nutanix	Premium	Premium Plus	Workstation		
イメージバックアップ / 共有フォルダ (CIFS / NFS ※1) のバックアップ	●	●	●	●		
バックアップ データの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●	●	●		
統合管理	●	●	●	●		
仮想マシンのエージェントレス バックアップ (vSphere/Hyper-V / AHV ※1)	●	●	●	●		Arcserve UDP
仮想スタンバイ/インスタント VM	●	●	●	●		
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンライン バックアップ ※3	●	●	●	※2		
アシュアードリカバリ / SLA レポート	●	●	●	※4		
バックアップ データのテープ保管 ※5	●	●	●			Arcserve Backup
Oracle RMAN との連携バックアップ		●	●			
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp / HPE 3PAR / Nimble など)		●	●			
役割ベースの管理		●	●			
Arcserve Backup すべての機能 / 全エージェント/全オプションの利用 ※6		●	●			
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		●	●			Arcserve Replication /HA
Arcserve Replication/High Availability のすべての機能 ※7			●			

※1 : AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うには Advanced Edition for Nutanix を購入してください。

※2 : Workstation Edition では vSphere/Hyper-V への仮想スタンバイのみ行えます。

※3 : Microsoft 365 (Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive および Teams) の保護には、別途専用のサブスクリプションを提供しています。

※4 : Microsoft SQL Server Express Editionのみオンライン バックアップをサポートします。

※5 : Arcserve UDP で1次バックアップしたデータを2次保管するためのArcserve Backup の Tape Integration ライセンスが同梱されます。シングル テープ ドライブ の装置のみサポートします。

※6 : 「すべての機能」とは、日本語の動作要件に記載されている製品（機能）が対象です。

※7 : 「すべての機能」とは、日本語の動作要件に記載されている製品（機能）が対象です。ライセンスは複製元と複製先サーバ（物理/仮想ホスト）の両方にライセンスが必要です。

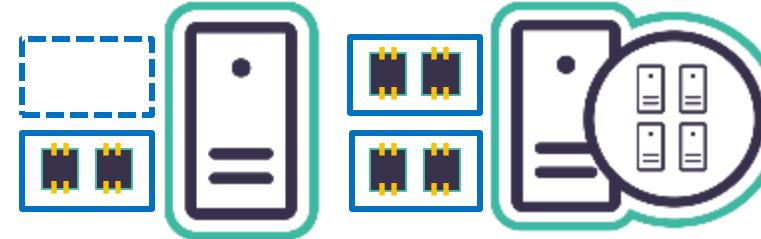
課金単位の選択



サーバ単位 課金 (per Server)

保護対象の物理サーバ台数分のライセンスを購入
(物理サーバに適用)

Advanced



ソケット単位 課金 (per Socket)

保護対象サーバのCPUソケット数分のライセンスを購入
(未使用ソケット分は不要)

**Advanced/
Advanced for Nutanix/
Premium/Premium Plus**



容量単位 課金 (per Terabyte)

保護対象サーバの総データ容量分のライセンスを購入
※1

**Advanced/
Premium/Premium Plus**

注：

1. Workstation Edition はクライアントPC台数の課金
2. Microsoft 365 については、専用のサブスクリプションが存在します。バックアップ対象テナントに含まれるすべての有効な Microsoft 365 ライセンスと同数の購入が必要です。

※1 Microsoft 365 データの保護も可能

価格：永続（ペーペチュアル）ライセンスとサブスクリプションから選択可能



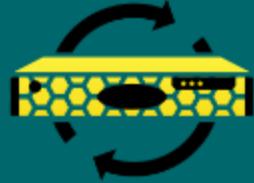
エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	永久ライセンス+1年メンテナンス	永久ライセンス+5年メンテナンス	永久ライセンス+1年メンテナンス	永久ライセンス+5年メンテナンス
Advanced Edition	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥130,000 (¥143,000)	¥222,000 (¥244,200)
Premium Edition	–	–	¥258,000 (¥283,800)	¥438,000 (¥481,800)
Premium Plus Edition	–	–	¥386,000 (¥424,600)	¥654,000 (¥719,400)

エディション	サーバ単位 (Server)		ソケット単位 (Socket)	
	サブスクリプション1年メンテナンス付き	サブスクリプション5年メンテナンス付き	サブスクリプション1年メンテナンス付き	サブスクリプション5年メンテナンス付き
Advanced Edition	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥44,000 (¥48,400)	¥220,000 (¥242,000)
Premium Edition	–	–	¥87,000 (¥95,700)	¥435,000 (¥478,500)
Premium Plus Edition	–	–	¥131,000 (¥144,100)	¥655,000 (¥720,500)

エディション	容量単位 (1TB)		容量単位 (1TB)	
	永久ライセンス+1年メンテナンス	永久ライセンス+5年メンテナンス	サブスクリプション1年メンテナンス付き	サブスクリプション5年メンテナンス付き
Advanced Edition	¥784,000 (¥862,400)	¥1,312,000 (¥1,443,200)	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Advanced Edition for Nutanix	–	–	¥128,000 (¥140,800)	¥640,000 (¥704,000)
Premium Edition	¥1,305,000 (¥1,435,500)	¥2,181,000 (¥2,399,100)	¥255,000 (¥280,500)	¥1,275,000 (¥1,402,500)
Premium Plus Edition	¥2,289,000 (¥2,517,900)	¥3,817,000 (¥4,198,700)	¥382,000 (¥420,200)	¥1,910,000 (¥2,101,000)

※メンテナンスは3年、4年もございます。インストールメディアは別売です。金額は税抜きで、括弧の中は税込みです。

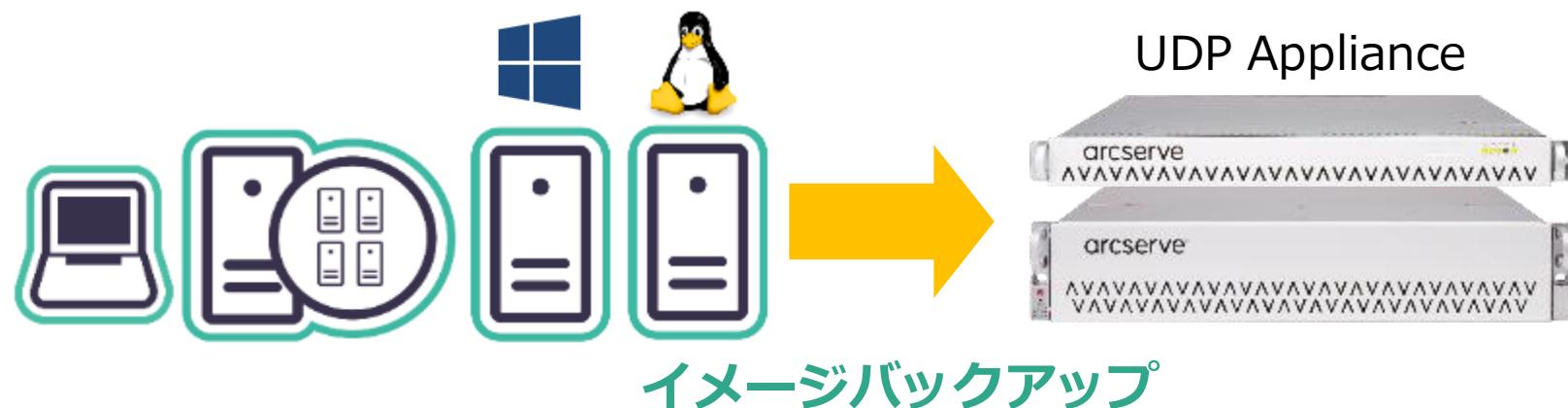
※アカデミック用など記載のないライセンスは " <https://www.arcserve.com/jp/licensing-options> " を参照下さい。



Arcserve UDP Appliance

バックアップ専用アプライアンスサーバ

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス
内蔵ディスクにバックアップできる限りライセンスが使い放題
中規模・大規模環境のバックアップをより簡単にシンプルに実現





アプライアンスで運用コストを削減



サイジング不要で設置も簡単、大容量ストレージへのバックアップで容量不足の心配無し！

バックアップ ソフトウェア

Arcserve UDP プリインストール
ライセンスフリー



1U モデル	価格(税込)
9200 v2 (RAID-5: 12TB)	6,490,000 円
9200-6 v2 (RAID-6: 8TB)	5,390,000 円
9220 v2 (RAID-5: 24TB)	9,790,000 円
9220-6 v2 (RAID-6: 16TB)	8,690,000 円

2U モデル	価格(税込)
9400 v2 (RAID-6: 40TB)	14,190,000 円
9420 v2 (RAID-6: 80TB)	19,690,000 円



バックアップ用 ハードウェア

ハードウェアサイジングが不要

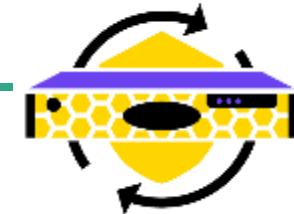


5年間 メンテナンス付

2年目以降の更新費用不要

サポート対応

- ✓ Arcserve テクニカルサポートにて窓口対応。
Arcserveでワンストップサービスを提供
- ✓ ハードウェア故障はオンサイト（現地訪問）対応が可能
部品交換が必要な場合、現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標（※1）
- ✓ メンテナンス期間内であれば、Arcserve UDPの無償アップグレードが可能
(アップグレード作業はお客様にて実施いただきます)



※1 サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内
での目標となります。

※ 価格の詳細は "<https://www.arcserve.com/jp/licensing-options>" を参照下さい。

Arcserve 無償ハンズオン セミナー & Web (動画) セミナー



Arcserve Backup

1. 入門編
2. システム復旧編

Arcserve UDP

1. 前編(Agent)
2. 後編(Server)
3. Linux Agent 編

Arcserve Replication/ High Availability

1. 前編 (Replication)
2. 後編 (HA)

お申し込みは

Arcserve セミナー

検索 まで。

お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト：www.arcserve.com/jp
カタログセンター（カタログ、技術資料）

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト（購入前のお問い合わせ）

例：「この構成で必要なライセンスを教えてください」、
「Arcserve UDP はXXXに対応していますか？」、
「XXXはサポートされますか？」



フリーダイヤル：**0120-410-116**

（平日 9:00～17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム：<https://www.arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>

Arcserve UDP はあらゆる業種のお客様の課題を解決しています！



株式会社日本製鋼所様

arcserve®

Arcserve UDP 導入事例 |

> 15分でサーバ起動可能なBCP体制をArcserve UDPで確立

仮想・物理のバックアップ統合も果たしながら、作業工数、コストは1/5に減少

ユーザープロフィール

業種：製造業
会社名：株式会社日本製錬所 横浜製作所

JSW

課題

システム構築の多くの変更が化した日本製錬所 横浜製作所では、「バックアップデータ」を利用した迅速な事業継続計画の確立の取り組みが求められました。顧客の要望では、データの復元時間はデータダウン時間ほどで一日目を出した。

また、バックアップ作成そのもののが複雑かつ保守も複雑

となるなど多くの問題を抱えていました。

経緯

同製作所は、底堅い業績のリーダーとして日本製錬所 横浜製作所では、「バックアップデータ」を利用した迅速な事業継続計画の確立の取り組みが求められました。顧客の要望では、データの復元時間はデータダウン時間ほどで一日目を出した。

導入

「バックアップデータを復元する」という観点に、既存のシステムは非常に重いと感じました。そこで、導入候補となったのがArcserve UDPの名前です。なぜなら、Arcserve UDPは、データの復元時間を短くする機能を有しているからです。

効果

2016年8月に新システムは本稼働を実現し、導入候補だったArcserve UDPが選ばれた理由が、実際に見てみると、データの復元時間が大幅に短縮されました。また、他の要望と併せて、初期費用と保守費用のバランスが良さ

Assured recovery™

株式会社クレオ様

株式会社ライフサポート様

arcserve

Arcserve UDP 導入事例 |

> "待ったなし"の業務を、
PC故障による深刻な停滞から
救ったArcserve UDP

最低でも2日間はかかった復旧作業が2時間に。第一印象は"まるでタイムマシン"

ユーザープロフィール

業種：保険代理業
会社名：株式会社ライフサポート

※会員登録済みの場合は、ログイン後「マイページ」から「会員登録」へ

課題

あるあるの相談のビジュализ化ができない、世界標準界隈で顧客対応から事業運営まで、データで分析が出来てほしい、セキュリティ強化が求められるなど、常に企業としての成長を目指す保険代理業者、それが株式会社ライフサポート。では、なぜクラウドPCで、3台のノートPCを8台のクラウドPCでの運用に改め、そしてそれがPCの重要な要素は高まっています。

経緯

デスクトップPCが堅苦しいので多くの力を要すようになり、業務の運営が苦しんでしまって、データで分析が出来てほしい、セキュリティ強化が求められるなど、常に企業としての成長を目指す保険代理業者、それが株式会社ライフサポート。では、なぜクラウドPCで、3台のノートPCを8台のクラウドPCでの運用に改め、そしてそれがPCの重要な要素は高まっています。

導入

シングルライセンシングはPCの初期費用が嵩むけれども、手軽に同時に持たかることで問題の発生を考慮して、アーチストとじんじん保険の2社に導入されました。そこで、Arcserve UDP Workstation Edition(以下、Arcserve UDP)の導入を実現し、小山さんは「本当に感謝です」と語ります。

効果

一方で、西進にPCの不具合が頻発する中で、小山氏自身は手慣れていないのに、アーチストでは「アーチストでは、Arcserve UDPを導入したところにより、遅い・分離やすいバックアップ体制を確立し、運用効率を向上させた」、

Assured recovery

詳しく知りたい方はこちら ➔

Arcserve カタログセンター

検索



arcserve®

arcserve Japan合同会社

[arcserve/jp](https://arcserve.jp)

